ケーブルプラスSTB-2 mini

取扱説明書

品番 C02ES1

●このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用の前に「安全上のご注意」(☞P6～8)を必ずお読みください。
●この取扱説明書は大切に保管してください。
●識別表示および電源定格などの情報は、本体およびACアダプターの底面に表示されています。

G-GUIDE®

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

目次

はじめに

4 本機の特長
6 安全上のご注意
6 安全にお使いいただくために必ずお読みください
7 ご使用にあたって
8 知的財産権について
8 返却などされる場合の留意事項
8 お客さま情報に関するご注意
9 各部の名称とはたらき
9 本機(前面)
9 本機(底面)
10 本体(背面)
12 リモコン
13 本機の設置方法
13 設置方法
14 基本的なリモコンの使い方
14 リモコンの使い方
15 電池の入れかた
15 リモコンモードの変更

接続

16 本機とアンテナケーブルの接続
17 本機とテレビの接続
18 本機とネットワーク機器との接続
18 インターネットへの接続について
18 ネットワーク機器(DLNA対応機器など)との接続
20 C-CASカードの挿入

基本画面

21 テレビメニューの操作
21 テレビメニュー
24 テレビ設定
26 システム設定
28 お知らせ

番組を見る

29 テレビ放送を視聴する
29 テレビメニューから番組を見る
29 番組の詳細メニューを見る
30 テレビ全画面表示中の番組選局
30 チャンネル番号を入力して選局する
31 選局時のチャンネル情報表示
31 現在放送中番組
32 多重音声放送時の音声切換
32 字幕表示
33 データ放送の表示
33 視聴制限の一時解除
34 サブメニューの表示
35 4K映像を見る
36 番組表を使う(EPG)
36 番組表(EPG)の表示
37 番組詳細を確認する／番組を視聴する
37 簡単に録画予約する
37 番組表の日付を変更する
37 番組表の表示を切り換える
38 番組表で録画予約／視聴予約する
38 お好みチャンネル
39 サブメニュー
40 お好みチャンネル
40 お気に入りのチャンネルをお好みチャンネルに登録／削除する
40 お好みチャンネルで選局する

録画・再生

41 USBハードディスクの設定
41 本機とUSBハードディスクの接続方法
41 本機とUSBハードディスクの接続方法(USBハブ経由)
42 USBハードディスク録画に関するご注意
44 機器登録する
45 登録済みUSBハードディスクの設定
47 LAN録画の準備
47 本機と録画機器の接続
48 番組を即時録画する
48 視聴中の番組を録画する
48 放送中の2番組を同時に録画する
48 録画を停止する
49 録画予約する
49 録画予約時のご注意
49 番組表(EPG)から録画予約する
50 録画予約の繰り返し録画設定
50 録画予約の詳細設定
51 時間を指定して予約する
52 検索して録画予約する

目次

53 録画予約の確認・修正・消去
53 予約失敗履歴
54 USBハードディスクの番組を再生・操作する
54 録画番組を再生する
54 早見再生する
55 サブメニューの表示
55 録画番組の消去
55 録画番組の保護／保護解除
56 再生中のリモコン操作について
57 録画番組詳細
57 複数の録画を操作する
58 DLNA（ホームネットワーク）の準備
59 DLNA（ホームネットワーク）について
59 本機で利用できるDLNA対応機器や機能
60 DLNA対応機器の番組を本機で再生する（DMP機能）
61 DLNA対応機器の録画番組の消去
61 DLNA対応機器の録画番組の複数消去

各種設定

62 設定
62 ワンタッチ選局
63 チャンネルスキャン
64 チャンネルマスキング
65 緊急警報放送待機設定
66 HDMI端子の出力設定
68 ネットワーク関連の設定
68 LANの設定
69 ホームネットワーク設定

便利な機能

70 ダビングする
70 本機と録画機器の接続
72 ダビングする
73 ダビングを中止する
74 ダビングの履歴を見る

外部機器との接続

75 HDMIでの本機とテレビの連動設定
75 HDMI機器制御設定
76 本機とテレビの電源を連動する
76 テレビのリモコンで本機を操作する
77 USBハードディスク／ハブ動作確認一覧

必要なとき

78 文字入力について
78 ソフトウェアキーボードを使って文字を入力する
80 最新の状態にする
80 システム更新設定
80 アプリのアップデート
81 便利な設定（テレビ）
81 順送りできるチャンネルを設定する
81 チャンネルの入力方式を設定する
81 文字スーパーを設定する
82 字幕を設定する
83 便利な設定（リモコン）
83 本機のリモコンにテレビのメーカーを設定する
84 よく使うアプリを設定する
85 使い方に合わせて利用する
85 録画時の設定を変更する
85 視聴年齢制限を設定する
87 本機のいろいろな情報を確認する
87 ACAS ID（ACAS番号）／C-CASカードの番号などを見る
87 ストレージの残容量を確認する
88 本機を初期化する
88 データの初期化
89 テレビ設定/システム設定メニュー
91 アイコン一覧
92 同時動作と優先動作について
93 本機の表示ランプについて
94 故障かな!?と思ったら
96 メッセージ表示一覧
97 使用上のご注意
100 設置するときのご注意
101 お願い（その他）
102 仕様
102 本体
102 リモコン
103 GPL・LGPLについて
104 登録商標について
105 電波に関する注意事項
106 さくいん
108 付属品の確認

本機の特長

本機は、地上デジタル/BSデジタル/BS4K/CATV放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。本機に接続したUSBハードディスクを使い、番組の録画／再生することができます。ダブルチューナー搭載により、2番組同時録画を行えます。
また、本機をインターネットに接続することにより、インターネット閲覧（ブラウザアプリ）、かんたんテレビ電話等を利用することができます。
- ご加入のケーブルテレビ局やご契約内容により番組内容・サービス内容が異なる場合があります。詳しくはご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

デジタル放送の視聴

本機では、地上デジタル/BSデジタル/BS4K/CATV放送を視聴することができます。

■地上デジタル
地上波を用いたデジタル放送で、高画質のハイビジョン放送や双方向番組を楽しむことができます。

■BSデジタル
放送衛星（Broadcasting Satellites）を用いたデジタル放送です。
視聴するにはご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要ですが、民放局（BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSテレ東、BSフジなど）では無料放送を行っています。

■BS4K
放送衛星（Broadcasting Satellites）を用いた4K放送です。
視聴するにはご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要ですが、民放局（BS日テレ 4K、BS朝日 4K、BS-TBS 4K、BSテレ東 4K、BSフジ 4Kなど）では無料放送を行っています。
※本機では、8K放送は視聴できません。

■CATV
有線のテレビ放送（Cable television）サービスです。
映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあり、ほとんどの放送は有料です。視聴するにはご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。

番組表を使う（EPG）

地上デジタル/BSデジタル/BS4K/CATV放送の各チャンネルを、番組表（EPG）を使って簡単に録画予約／視聴予約することができます。
（表示内容は、ご加入のケーブルテレビ局やご契約内容により異なる場合があります。）
- 番組表は、Gガイドを使用しています。

番組を探す

「番組検索」よりフリーワード検索やジャンル検索でお好みの番組を探し、視聴や予約ができます。

番組を録画する

本機とUSBハードディスクを接続することで番組の録画／再生ができます（本機にUSBハードディスクの登録が必要です）。
また、同じホームネットワーク上のDLNA対応録画機器※1（本機と録画機器の両方でネットワーク設定が必要）に録画（LAN録画）することもできます。

- 録画中の録画番組を再生することができます（USBハードディスクによる録画のみ）。
- ダブルチューナー搭載により、2番組同時録画を行えます※2。

※1 JLabs SPEC-020（一般社団法人日本ケーブルラボ）に準拠した録画機器
最新情報は、https://www.jlabs.or.jp/judging/judging-dlna/dlna-equipment をご確認ください。
※2 2番組同時録画は録画をUSBハードディスクで行った場合に限ります
（LAN録画のみによる2番組同時録画はできません）。

- バスパワーのUSBハブは使用しないでください。

ダビングする

本機のUSBハードディスクに録画した番組を、同じホームネットワーク上のDLNA対応録画機器※へダビングすることができます。
※ JLabs SPEC-020（一般社団法人日本ケーブルラボ）に準拠した録画機器

インターネットを使う

インターネットに接続することができます。
※ ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用になれない場合があります。詳しくはご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。

本書中のマーク説明

⚠ 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本機の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本機を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI－B（VCCI：情報処理装置等電波障害自主規制協議会）

ご使用にあたって

- 本書はケーブルプラスSTB-2 miniの取り扱いに関する注意事項について説明しています。
- ご使用の際は本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機に搭載されているソフトウェアの取り出し／解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- 本機（本書、ソフトウェアを含む）は日本国内向け仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。また海外で保守サービスおよび技術サービスは行っておりません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。
  This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.
- 本機（ソフトウェア含む）は、外国為替および外国貿易法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は、同法による許可が必要です。
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた障害や、万一、本機に登録された情報内容や本機に接続したUSBハードディスクなどの記憶装置に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失が起きたとしても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  本機に登録された情報内容は別にメモをとるなどして保管してください。
- 本書掲載の図・画面はイメージであり、実際の表示と異なる場合があります。
- 本機を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合は、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません（推奨機器の記載があるものを除く）。
- 本書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- お客さまは、本機に添付されているプログラム（以下「プログラム」といいます。）の全部または一部の解析、改造、複製、改変、取り出し、第三者への売却、譲渡、その他プログラムに関する著作権等を侵害する行為を行ってはならないものとします。

安全上のご注意

知的財産権について

本機を利用してインターネット上のコンテンツを利用する場合は、著作権法などの法規を守ってお使いください。

返却などされる場合の留意事項

本機は、お客さま固有のデータを登録または保持可能な商品です。本機内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本機を返却などされる際には、本書をご覧のうえ、本機内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

お客さま情報に関するご注意

本機は、お客さま固有のデータを登録または保持可能な商品です。本機内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがあります。データの管理には十分お気をつけください。

各部の名称とはたらき

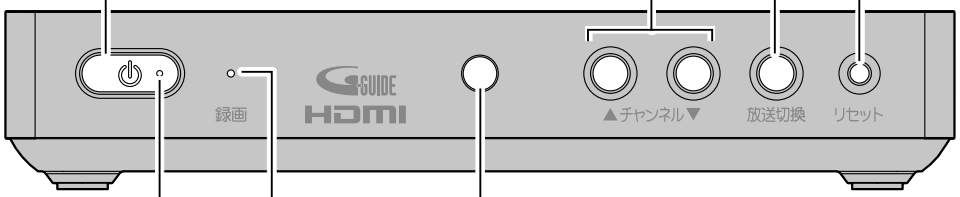
本機(前面)

リセットボタン
画面が固まってしまった、など正常に動作しなくなった場合に押します。

放送切換ボタン
ボタンを押すと地上デジタル/BSデジタル/BS4K/CATVの順に切り換わります。

チャンネルボタン
視聴中のチャンネルを切り替えます。

電源ボタン
電源を「入」「切」します。

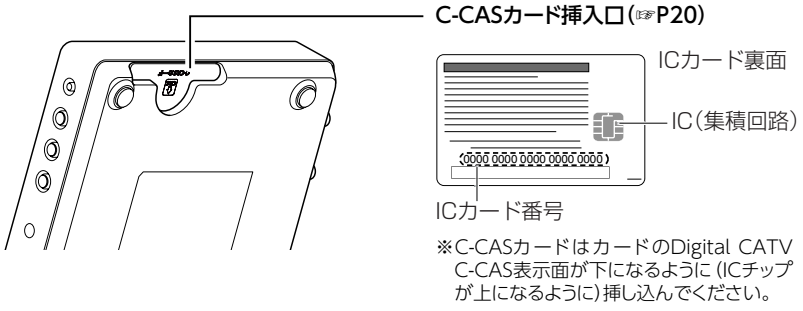


録画ランプ(☞P93)
赤色点灯……録画中

電源ランプ(☞P93)
緑色……電源「入」の状態
赤色……電源「切」の状態

リモコン受光部
リモコンからの赤外線信号を受信します。
リモコンからの赤外線をさえぎらないように注意してください。
リモコンによる操作が正常に行えない可能性があります。

本機(底面)



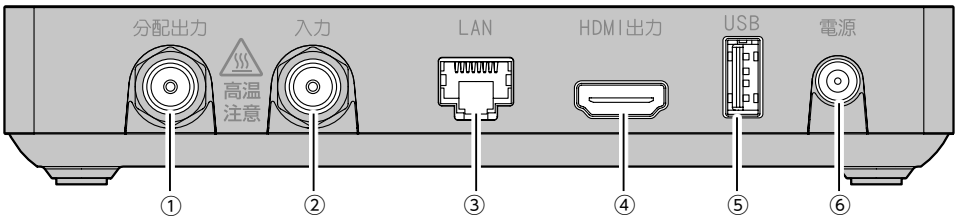
※C-CASカードはカードの Digital CATV C-CAS表示面が下になるように(ICチップが上になるように)挿し込んでください。

お願い

- 電源「切」状態(電源ランプ:赤色点灯)でも、デジタル放送からの情報受信や有料番組の視聴記録の送信を自動的に行っています。本機を最新の状態に保つため、未使用時は電源「切」にしてください。
  (※電源「切」状態でも、ACアダプターを電源コンセントから抜かず、そのままの状態でご使用ください。)
- 本機の電源を完全に切る場合は、本機の電源ボタンを電源ランプが消灯するまで長押しし、すべてのランプが消灯したのを確認してからACアダプターを抜いてください。

各部の名称とはたらき

本体(背面)



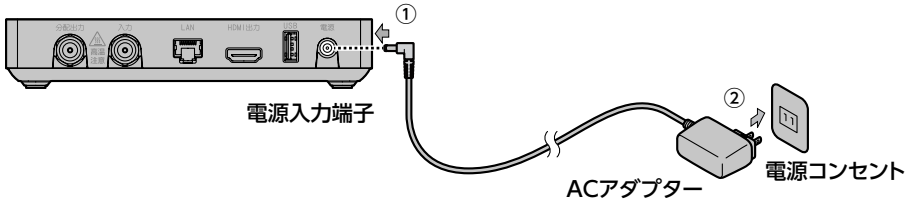
①	**BSアンテナ/ケーブル分配出力端子**	テレビ、レコーダー等の入力端子へ接続します(☞P16)
②	**BSアンテナ/ケーブル入力端子**	アンテナケーブルを接続します(☞P16)
③	**LAN端子**	ネットワーク機器(ブロードバンドルーターなど)へ接続します(☞P18)
④	**HDMI端子**	テレビ(またはAVアンプ等)のHDMI入力端子へ接続(☞P17)
⑤	**USB端子(USB2.0)**	録画用ハードディスクを接続します(☞P18)
⑥	**電源入力端子**	付属のACアダプターを接続します ※他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。 また、付属のACアダプターを、他の機器に使用しないでください(☞P11)

お願い

- 本製品の入力端子／分配出力端子は、機器動作中、および電源オフ直後は触れないでください。
- 本機の電源が「入」の状態で、本製品のコネクタ内部にピンセット等の金属で触れないでください。

ACアダプターを接続する

①電源入力端子にACアダプターを接続
②ACアダプターを電源コンセントに差し込む
※長期間使用しないときはACアダプターを電源コンセントから抜いてください。

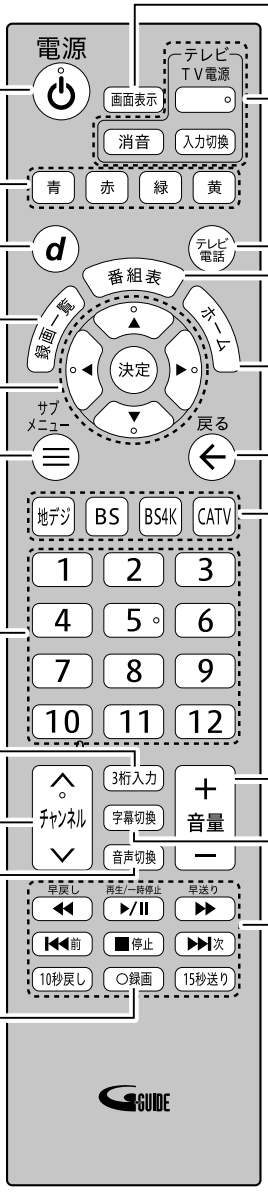


お知らせ

- 本機はHDMI入力端子をもたない機器には接続できません。
- HDMI規格に準拠したHDMIロゴのついたケーブルをご使用ください。
- 4K対応テレビに接続するときは、4K対応HDMIケーブルをご利用ください。

各部の名称とはたらき

リモコン



本機の電源を「入」「切」にする

カラーボタン
– 画面上で指示が出た色のボタンを押す

データ放送を表示する(☞P33)

録画番組一覧(☞P54)を表示する

画面上の項目移動・決定
▲▼◀▶(上下左右に移動)、決定(☞P14)

サブメニューを表示する(☞P34)

選局ボタン(☞P30)／数字ボタン

チャンネル番号を入力して選局する
(☞P30)

選局ボタン(☞P30)

音声を切り換える(ステレオ／2ヶ国語放送など)(☞P32)

録画する(☞P48)

画面に表示される情報の表示／非表示を切り替える

【テレビの操作】
– テレビの電源を「入」「切」にする
– テレビの入力を切り換える
– テレビの音を消す

かんたんテレビ電話を起動する
– 設定を変更することにより、別のアプリを起動することができます(☞P84)

番組表を表示する(☞P36)

ホーム画面を表示する(☞P21)

1つ前の画面または状態に戻る

放送を切り替える
– ご加入のケーブルテレビ局やご契約内容によりサービス内容が異なる場合があります。サービスされていない放送には切り替わりません。

【テレビの操作】テレビの音量を操作する

字幕の表示／非表示を切り換える
(☞P32)

USBハードディスクやDLNA対応機器などの再生操作を行う(☞P56)

お願い

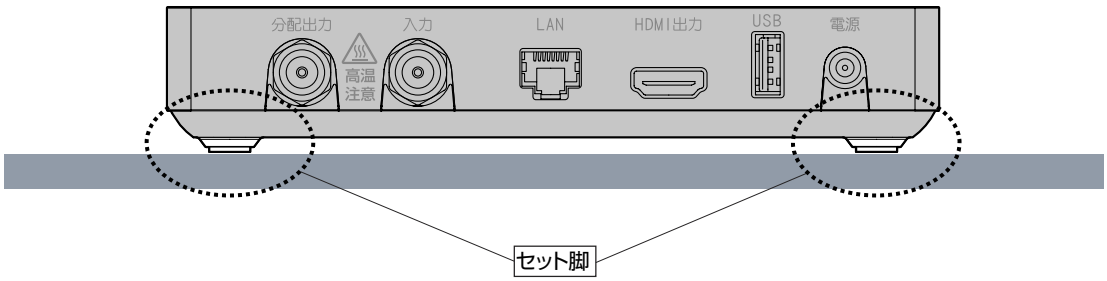
- リモコンを高所から落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因となります。
- 【テレビの操作】と記載されているボタンを使用するにはテレビのメーカー設定が必要です。(☞P83)
- リモコンの各ボタンは赤外線で動作します。

本機の設置方法

本機は横置き専用です。縦置きで設置しないでください。
※設置に関するご注意については、「設置するときのご注意」(☞P100)もご参照ください。

設置方法

セット脚を下にして設置する
※本機が水平になるように、安定した場所に設置してください。

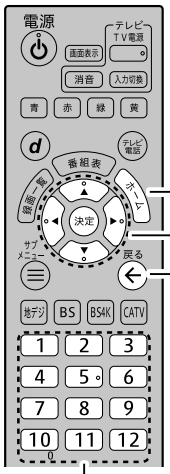


お知らせ

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。
- 周囲に10cm以上の間隔をあけて設置してください。
- 本製品をじゅうたんやマット・タオルなど、柔らかいものの上に置かないでください。
- 本製品やACアダプターを樹脂製のものやビニールでコーティングされたもの、塩化ビニール、フローリング調マット、あるいは塗装面など、熱に弱いものの上や、近くに置かないでください。

基本的なリモコンの使い方

リモコンの使い方



テレビメニューに戻る

1つ前の操作(画面)に戻る

■数字を入力するとき

リモコンボタン	入力文字(表示内容)
1 ～ 9	1～9
10 (0)	0

文字入力について(☞P78)

設定を行うとき

ホーム を押す

※ご加入のケーブルテレビ局やご契約内容により起動する画面が異なる可能性があります。

〈方法1〉

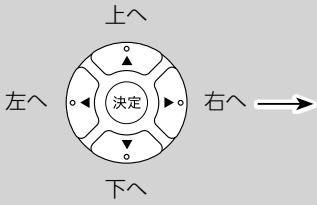
▶で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す

〈方法2〉

▼を押してフォーカスを画面下まで移動
▶で「システム設定」を選び、決定ボタンを押す

設定の詳細は89ページをご覧ください。

画面上で選ぶとき



▲▼◀▶で選び、決定ボタンを押すと、次の画面に移ります。

※本取扱説明書では

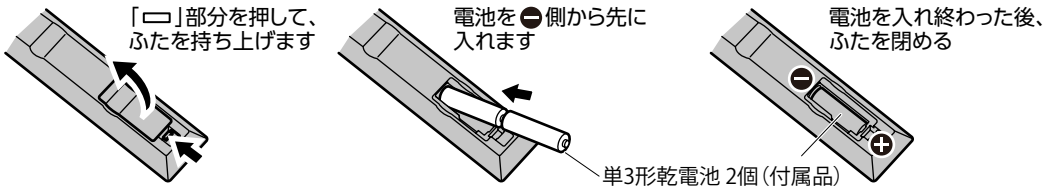
上へ　下へ

で選択する操作を▲▼で説明しています。

左へ　右へ

で選択する操作を◀▶で説明しています。

電池の入れかた



- 付属の乾電池は『試供品』です。電池切れが原因でリモコンの動作が悪くなりましたら、新しい乾電池（単3型）と交換してください。
- リモコンに電池を入れるときは、電池の（+）（−）を間違わないでください。液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。
- 奥側の電池が取り出しにくい場合があります。電池に指の腹を押し当て、ゆっくりと引き出してください。
- 電池を取り出す際にリモコンを手のひらや机に叩きつけないでください。液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。
- 電池を一般のゴミとして廃棄しないでください。お住まいの地域の、自治体の条例に従って破棄してください。

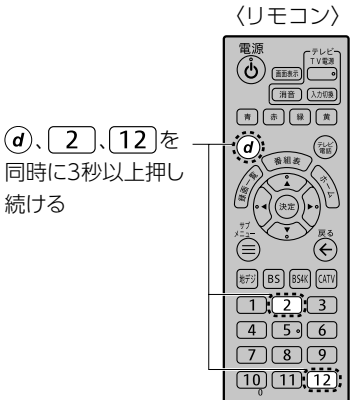
リモコンモードの変更

他の機器への誤操作を防ぐため、リモコン側のモードを変更することができます。

① ⓓと 12 を押しながら、 2 を同時に3秒以上押す

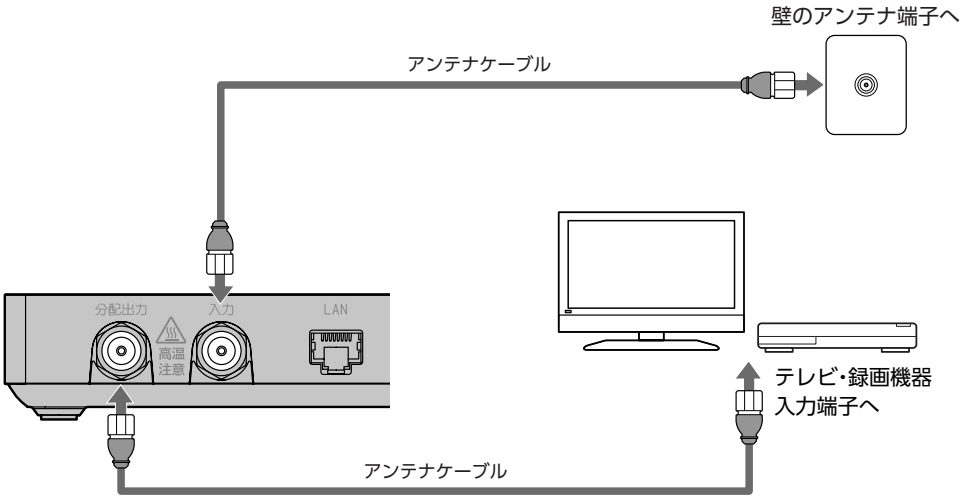
- リモコンモード1に変更するときは、ⓓと 12 を押しながら、 1 を同時に3秒以上押してください。

〈リモコン〉



ⓓ、 2 、 12 を同時に3秒以上押し続ける

本機とアンテナケーブルの接続



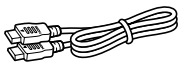
お願い

- 入力端子・分配出力端子にF型接栓を接続するときは、適度に締めつけてください。
  （締めつけ過ぎると本機が破損する場合がありますのでご注意ください。）
- 入力端子・分配出力端子には、BSアンテナなどへ電源供給を行っているケーブルは接続しないでください。
- アンテナケーブルの接続は本機の電源を完全に切った（ACアダプターを抜いている）状態で行ってください。
- 機器を移動させる際は、STB電源をオフにし、ACアダプターを本製品から外し、接続しているケーブル類を全て外してください。

本機とテレビの接続

準備するもの

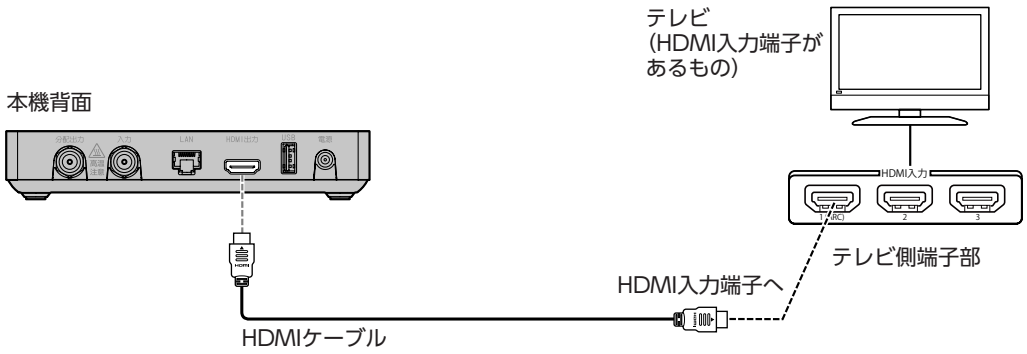
HDMIケーブル



お願い

- HDMI規格に準拠したケーブルをご使用ください
- 4K対応テレビに接続するときは、4K対応HDMIケーブルをご利用ください。
  (4Kテレビの接続について(☞P35))

本機とテレビの接続方法



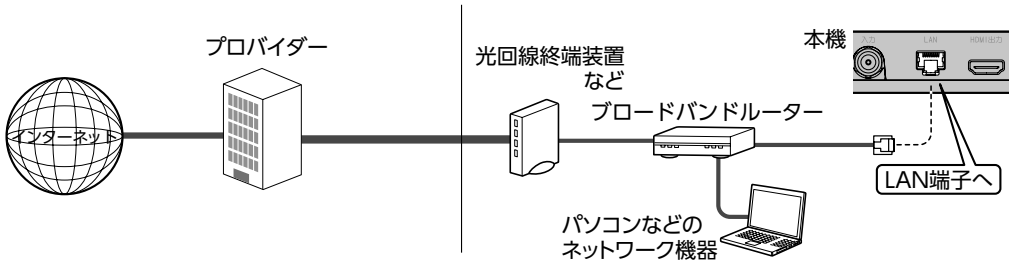
お願い

- HDMIケーブルの接続は本機および接続するテレビの電源を完全に切った(電源ランプが消灯している)状態で行ってください。
- テレビとの接続後、テレビに合わせて「HDMI出力解像度の設定」(☞P66)を行ってください。

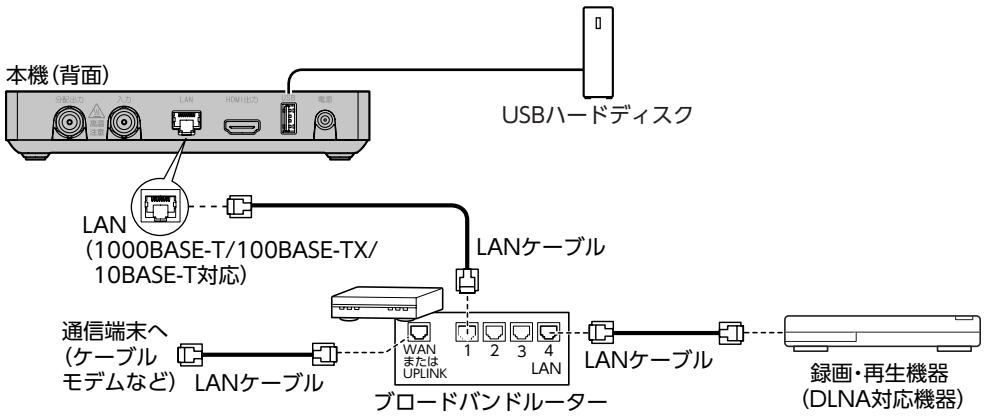
本機とネットワーク機器との接続

インターネットへの接続について

本機をご家庭用のインターネットに接続するとき



ネットワーク機器（DLNA対応機器など）との接続



- DLNA機能を実行するには、本機とDLNA対応機器を同じホームネットワークに接続し、各機器の設定をしてください（DLNA対応機器の設定・操作に関しては、DLNA対応機器の取扱説明書をご確認ください）。また、本機をインターネットに接続していることを確認してください。
- ケーブル接続後、ネットワーク設定を行ってください（「ネットワーク関連の設定」（☞P68））

お知らせ

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によってはご利用できない機能や設定できないメニュー項目などがある場合があります。
  詳しくはご加入のケーブルテレビ局にお問い合せください。
- インターネットへの接続は、光ファイバー（FTTH）、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約（有料）していただく場合があります。
- ご利用のインターネット環境によっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。接続に関するご質問はご加入のケーブルテレビ局またはプロバイダーにお問い合せください。
- 本機では通信端末（光回線終端装置など）の設定はできません。通信端末の設定に関しては、通信端末の取扱説明書をご参照ください。
- 本機に接続したブロードバンドルーターがDHCPでIPアドレスを割り当てている場合、本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。

C-CASカードの挿入

CATV放送の視聴のためにはC-CASカードが必要です。

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、C-CASカードがない場合があります。
- カード裏面下部にC-CASカード番号が記載されています。有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際に必要となりますので、「ご利用にあたっての注意事項」の「メモ」欄に記入しておいてください。

■本機にC-CASカードを挿入する

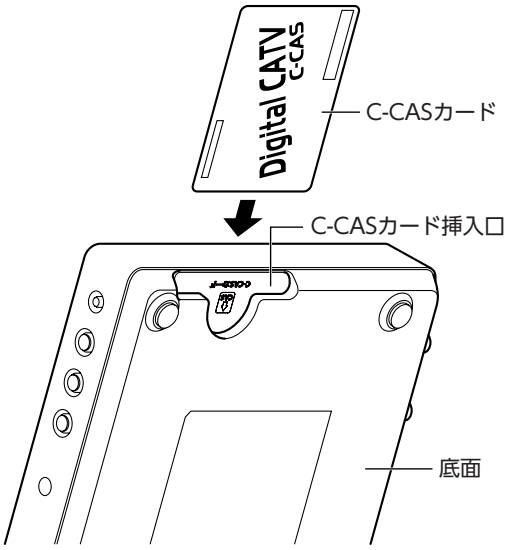
① 本機の電源を完全に切る

- 電源を完全に落とし、電源入力端子からACアダプターを抜いてください。

※本機の電源が「入」の状態でC-CASカードを抜き差ししないでください。
本機やC-CASカードが破損し、番組がご視聴できなくなる場合があります。

② C-CASカードを(ICチップが上になるように)挿入する

- C-CASカードの向き(ICチップが上)にご注意ください。
- C-CASカードは奥までしっかりと挿入してください。



■C-CASカードを抜くとき

①本機の電源を完全に切る(電源ランプが消灯している状態にする)
②ゆっくりとC-CASカードを抜く

C-CASカードの抜き差しは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき、指示に従って操作してください。

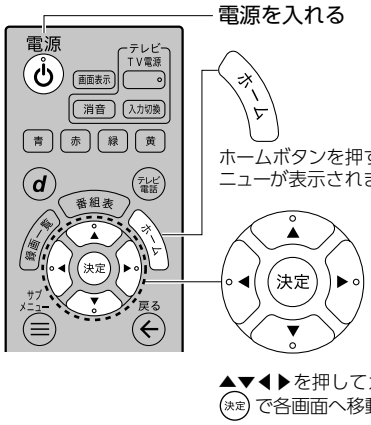
お願い

- C-CASカードを折り曲げたり、踏みつけたりしないでください。変形により、C-CASカードが読み取れなくなる可能性があります。
- C-CASカードを水にぬらしたりしないでください。また、IC(集積回路)部分は手でさわらないようご注意ください。カード破損によりC-CASカードが読み取れなくなる可能性があります。
- 本機専用のC-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因となります。
- 挿入時はC-CASカードの向きにご注意ください(ICチップが上)。挿入方向が違う場合、C-CASカードは機能しません。

テレビメニューの操作

テレビメニュー

本機の起動後、ホームを押すことでテレビメニューが表示されます。



※ご加入のケーブルテレビ局やご契約内容により起動する画面が異なる可能性があります。

〈テレビメニューTOP〉

テレビメニューの操作

テレビメニュー内の移動のしかた

〈テレビメニュー内のアイコン〉

●テレビ

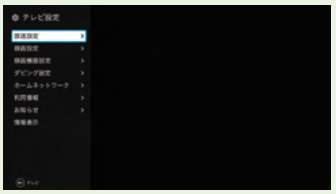
●番組表

●録画一覧

●予約一覧

●番組検索

●テレビ設定



〈アプリ内のアイコン〉

●システム設定

テレビメニュー

※画面レイアウトや表示内容は、各ケーブルテレビ局により異なる場合があります。

- テレビメニュー内アイコン
  - テレビ
  - 番組表(☞P36)
  - 録画一覧(☞P54)
  - 予約一覧(☞P53)
  - 番組検索(☞P52)
  - テレビ設定(☞P24)
  - かんたんテレビ電話
  - インターネット
  - システム設定(☞P26)

テレビメニューの操作

テレビ設定

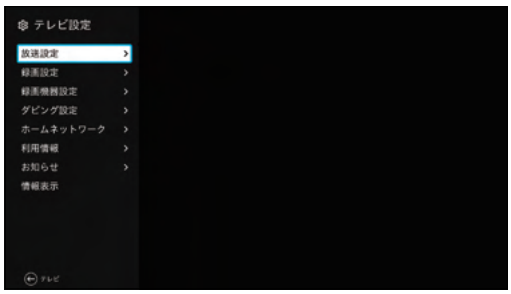
テレビ設定メニューを表示する

① テレビメニューより▶を押して「テレビ設定」を選び、決定を押す

テレビ設定メニューの操作

② ▲▼で設定メニューを選び、決定を押す

③ ▲▼で設定内容を選び、決定を押す
- 画面の内容に従い、設定してください。



テレビ設定メニューの内容

詳細はP89「テレビ設定/システム設定メニュー」をご参照ください。

放送設定

字幕
文字スーパー
ハイブリッドキャスト
視聴制限
番組表設定
選局設定
シームレス
チャンネルスキャン
チャンネルマスキング
緊急警報放送待機設定

録画設定

自動削除

録画機器設定

ダビング設定

ダビング履歴一覧

ホームネットワーク

サーバー機器一覧

利用情報

お知らせ

予約失敗履歴
放送メール

情報表示

テレビメニューの操作

システム設定

システム設定メニューを表示する

① **テレビメニューより▼を押してフォーカスをアプリ欄に移動**

② **▶を押して「システム設定」を選び、決定を押す**

〈テレビメニュー〉

▼で移動

▶で選択

システム設定メニューの操作

③ **▲▼で設定メニューを選び、決定を押す**

④ **▲▼で設定内容を選び、決定を押す**
・画面の内容に従い、設定してください。

〈システム設定メニュー画面〉

システム設定メニューの内容

詳細はP89「テレビ設定/システム設定メニュー」をご参照ください。

ネットワークとインターネット

接続状況
プロキシ設定
IP設定

アプリ

アプリをすべて表示
アプリの権限
特別なアプリアクセス
セキュリティと制限
アプリのアップデート

デバイス設定

デバイス情報
テレビ電話ボタン設定
HDMI設定
日付と時刻
言語
キーボード
ディスプレイと音
ストレージ
スクリーンセーバー
電源と省エネ設定
マイク
カメラ
再起動

テレビメニューの操作

お知らせ

本機のアップデート情報、通知、事業者、各アプリからのお知らせ、録画予約の失敗履歴を表示します。

① テレビメニューより、▶を押して「テレビ設定」を選び、(決定)を押す

② ▲▼で「お知らせ」を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で確認したいお知らせを選び、(決定)を押す

- お知らせが無い場合は、(決定)を押しても反応しません。

④ ▲▼で確認したいお知らせを選び、(決定)を押す

- お知らせの詳細な内容が表示されます。

⑤ お知らせ確認後、すべてのお知らせを削除したい場合は[赤]を押す

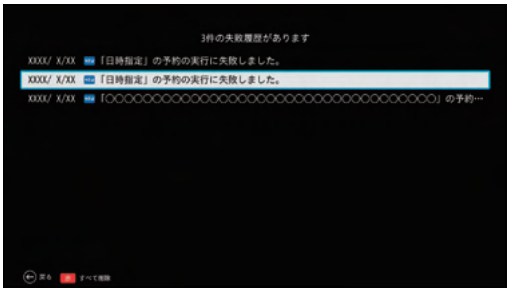
- 選択している項目に表示されている、すべてのお知らせが削除されます。

⑥ お知らせ画面で(戻る)を押す

- 1つ上の階層に移動します。

〈テレビメニュー〉

〈お知らせ画面〉



テレビ放送を視聴する

テレビメニューから番組を見る

① ホーム を押す

※ 地デジ BS BS4K CATV を押しても、テレビ放送を見ることができます（番組表表示中は除く）。

② ◀▶で「テレビ」を選び、決定 を押す

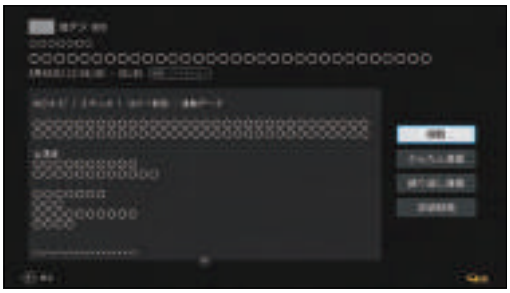
・テレビが全画面表示されます。

番組の詳細メニューを見る

① テレビ視聴中に、サブメニュー を押す

② ▲▼で「番組詳細」を選び、決定 を押す

・視聴している番組の詳細情報が表示されます。



詳細メニュー

■視聴
番組詳細を表示している番組を全画面表示します。

■かんたん録画
番組詳細を表示している番組を録画します。

■繰り返し録画
番組詳細を表示している番組を曜日指定の繰り返し録画する設定を行います。

■詳細録画
番組詳細を表示している番組の詳細録画設定を行います。

テレビ放送を視聴する

テレビ全画面表示中の番組選局

① テレビ全画面表示（放送視聴）にする

② 本体の「放送切換」ボタンを押し、放送を切り換える

- リモコンの放送切換ボタンからも放送を切り換えられます。

■放送切換ボタン

- 地デジ　地上デジタル放送
- BS　BSデジタル放送
- BS4K　BS4K放送
- CATV　CATV放送

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

③ チャンネルを切り換える

■ワンタッチ選局する

1 〜 12　数字ボタンでチャンネルを選ぶ

- 選局方式が「ワンタッチ」の場合、数字ボタンを押して放送局を選局できます。

■順送りで選局する

∧ チャンネル ∨　順送りで選ぶ

- 押すたびに、チャンネルを順番に選局します。
- 「サービス」で設定されている対象チャンネルを「シームレス」で指定されている方法で選局します。（☞P81）

チャンネル番号を入力して選局する

① テレビ全画面表示（放送視聴）にする

② 3桁入力 を押す

③ 1 〜 10（0） で3桁のチャンネル番号を入力する

- 選局方式が「3桁入力」の場合は 3桁入力 を押さずに数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力できます。
- 画面右上に3桁番号入力画面が表示されます。
- 数字ボタンの3桁目を押すと同時に選局されます。
- 入力したチャンネル番号と同じ番号の放送局が複数ある場合は、選択画面が表示されます。
  この場合は、さらに▲▼で見たいチャンネルを選び、決定 を押すと、選んだチャンネルが選局されます。

※ 選局設定について（☞P81）

お知らせ

- 番組表（EPG）からも選局できます（☞P37）
- 数字ボタン（1〜12）に対応するチャンネルを変更することもできます（☞P62）

選局時のチャンネル情報表示

チャンネル選局時、番組名などが表示されます。
チャンネル情報表示は、チャンネル選局時に表示され、一定時間たつと表示が消えます。
画面表示を押してチャンネル情報を表示した場合は、選局操作や視聴画面から抜ける操作をするまで常に表示されます。 画面表示を押すごとに、表示/表示消去を繰り返します。

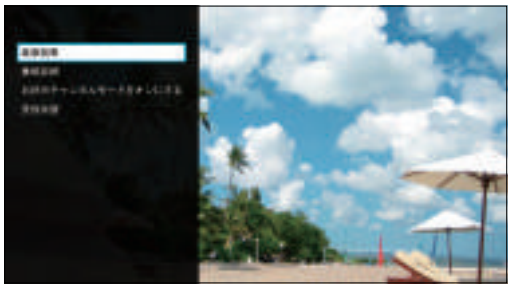
チャンネル情報表示

- チャンネル選局時に表示されます（表示は一定時間たつと消えます）。
- 画面表示を押してチャンネル情報表示を行うと、表示されます（常に表示されます）。

現在放送中番組

① テレビ全画面表示中にサブメニュー（≡）を押す

② ▲▼で「裏番組表」を選び、決定を押す



③ ◀▶で見たいチャンネルを選び、決定を押す

- 選択したチャンネルに切り替わります。

テレビ放送を視聴する

多重音声放送時の音声切換

視聴している番組が多重音声放送のときは、音声を切り換えることができます。
音声切換を押すたびに、音声が切り換わります。

字幕表示

字幕付き番組のときは、字幕の表示／非表示を切り換えることができます。

字幕切換
- 押すたびに、字幕の表示／非表示を繰り返します。
- 字幕言語が複数ある場合、字幕の第一言語／第二言語／非表示を繰り返します。

※「字幕を設定する」(☞P82)

データ放送の表示

データ放送とは、地上デジタル放送、BSデジタル放送やBS4K放送で実施しているサービスで、番組に関連した情報のほか、お住まいの地域の気象情報や地域情報をリアルタイムに閲覧したり、ショッピングや双方向(インタラクティブ)サービスによる視聴者参加番組などを利用できるサービスです。

① デジタル放送視聴中 d を押す

- 視聴中の画面にデータ放送画面が表示されます。

② ▲▼◀▶で画面内の項目を選び、決定を押す

- 決定以外のボタン(カラーボタンなど)を使うことがあります。画面の指示に従い、指定のボタンを押してください。

■通常の視聴に戻るとき
d を押す

お知らせ

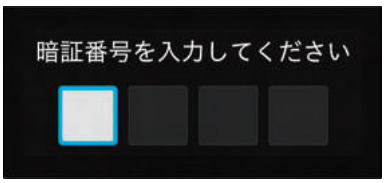
- ハイブリッドキャストについて
  データ放送の新サービス「ハイブリッドキャスト」に対応しています。
  本機をインターネットに接続し、ハイブリッドキャスト対応の番組を視聴中にリモコンのdを押すと、ハイブリッドキャストを起動します。

視聴制限の一時解除

視聴年齢制限のある番組は、本機の「視聴可能年齢を変更する」(☞P85)で設定した年齢を超えると、番組が表示されず、暗証番号入力画面が表示されます。

1～10(0)で暗証番号を入力することで制限が一時的に解除され、番組が視聴可能になります。

- 戻るを押すと、全文字削除されます。



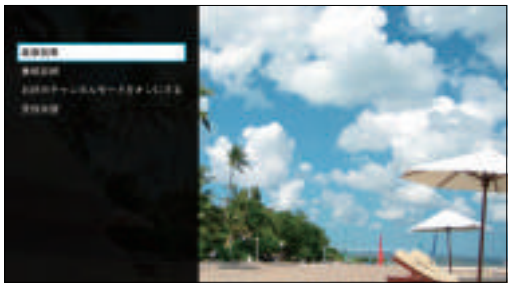
テレビ放送を視聴する

サブメニューの表示

テレビ全画面表示中にサブメニューを表示し、各種設定/操作を行うことができます。

① テレビ全画面表示中に(サブメニュー)を押す
- サブメニューが表示されます。

② ▲▼で項目を選び、(決定)を押す
- 各操作項目が表示されます。



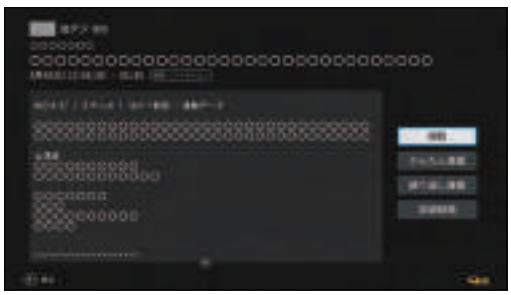
番組視聴中

番組視聴中のサブメニュー項目は、以下のとおりです。

サブメニュー項目	参照ページ
裏番組表	P31
番組詳細	下記
お好みチャンネルモードをオンにする	下記
お好みチャンネルモードをオフにする	下記
受信状態	下記

番組詳細

- 番組の詳細が表示されます。



お好みチャンネルモードをオンにする／オフにする

- お好みチャンネルモードに切り換えます。
  お好みチャンネルモード中の場合はお好みチャンネルモードを解除します。
  ※お好みチャンネルモードについて(☞P40)

受信状態

- 受信している信号の強さを表示します。

※強さの目安を示す簡易表示です。

4K映像を見る

■4Kとは?

フルハイビジョンの4倍もの解像度を持つ、次世代のテレビ規格のことです。
横3840（水平画素）×縦2160（垂直画素）で合計829万4400画素の極め細やかな画像で、フルハイビジョンでは表現しきれなかった細部の再現まで楽しむことができます。

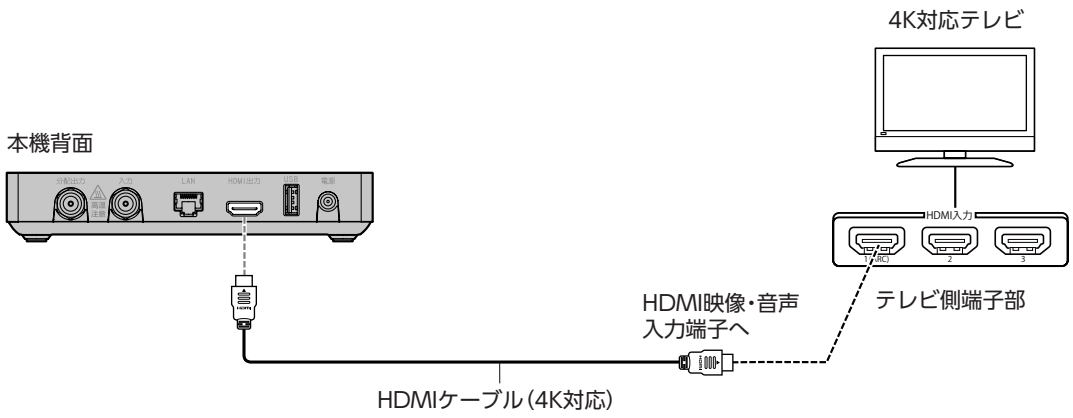
■4K映像を楽しむには?

4K対応テレビ、およびプレミアムハイスピードHDMIケーブルをご用意いただき、本機と接続してください。

※ご加入のケーブルテレビ局によってはBS4KやCATVの4K放送が視聴できない場合があります。

■接続方法

4K対応テレビと接続する場合



お知らせ

- ケーブルテレビ局が配信する4K放送の視聴、契約に関するご質問は、各ケーブルテレビ局へお問い合わせください。

番組表を使う(EPG)

番組表(EPG)を使って簡単に番組検索、録画予約／視聴予約することができます。
画面上に8日分の番組表、および番組情報が表示されます。
(表示内容は、ご加入のケーブルテレビ局やご契約内容により異なる場合があります。)

番組表(EPG)の表示

以下の操作により、番組表を表示します。

■リモコンから

① **テレビ放送視聴中に、番組表を押す**

■テレビメニューから

① **ホームを押す**

② **▲▼◀▶で「番組表」を選び、決定を押す**

番組表(EPG)の説明

予約中の番組には
マークが表示されます。
繰り返し予約中の番組には
マークが表示されます。
録画予約:
番組欄が赤色背景に
なります
視聴予約:
番組欄が緑色背景に
なります

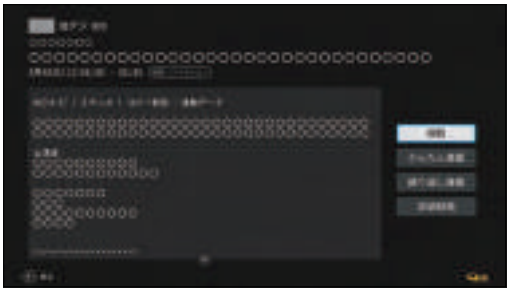
番組表ご利用の際の注意事項
本機は電源「切」時も、定期的に番組情報などを更新しています。電源を切るときはACアダプターを電源コンセントから抜かず、本機またはリモコンの電源ボタンを使い電源を「切」にしてください。

お知らせ

- 視聴年齢制限(☞P85)を設定している場合、年齢の制限を超える番組は「***」で表示されます。

番組詳細を確認する／番組を視聴する

① 番組表を表示中に、▲▼◀▶で現在放送中の番組から視聴したい番組を選び、(決定)を押す
- 番組詳細画面が表示されます。



② ▲▼で「視聴」を選び、(決定)を押す
- 選択した番組が全画面表示されます。

簡単に録画予約する

① 番組表より、▲▼◀▶で録画したい番組を選び、赤を押す

番組表の日付を変更する

① 番組表を表示中に、(サブメニュー)を押す

② ▲▼で「日付選択」を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で日付を選び、(決定)を押す

お知らせ
- 緑、黄を押すと1日単位で日付が切り替わります。

番組表の表示を切り換える

放送を切り換える

① 番組表を表示中に、地デジ BS BS4K CATVを押す
- 各種放送単位でチャンネルが切り換わります。

お好みチャンネル番組表

番組表を登録済みのお好みチャンネル(☞P38)表示に切り換えます。

① 番組表を表示中に(サブメニュー)を押す

② ▲▼で「お好みチャンネルモードをオンにする」を選び、(決定)を押す
- お好みチャンネルが登録されていると、番組表がお好みチャンネル番組表の表示に切り換わります。
- お好みチャンネルに登録していないチャンネルを視聴時は、番組表に現在視聴中のチャンネルも表示されます。

番組表を使う(EPG)

番組表で録画予約／視聴予約する

番組表で録画予約／視聴予約ができます。

① 番組表より、▲▼◀▶で録画予約／視聴予約したい番組を選び、(決定)を押す
- 番組詳細画面が表示されます。

② ▲▼で「かんたん録画」、「繰り返し録画」、「詳細録画」、「視聴予約」を選び、(決定)を押す
- かんたん録画：そのまま録画予約を実行します。
- 繰り返し録画：繰り返し録画画面を表示します。
- 詳細録画：詳細録画画面を表示します。
- 視聴予約：視聴予約画面を表示します。

※放送中の番組を指定した場合、視聴予約は「視聴」となり、テレビ全画面表示となります。

繰り返し録画の場合

③ ▲▼◀▶で「繰り返し予約する曜日」を設定し、「予約する」を選び、(決定)を押す

詳細録画の場合

③ ▲▼◀▶で「録画機器」「録画時刻」「繰り返し」を設定し、「登録する」を選び、(決定)を押す
- 「録画機器」でUSBハードディスクまたはLAN録画のDLNA対応録画機器を選択してください。
- 「録画時刻」で(決定)を押すと「時間指定予約」に変更することができます。
- 「繰り返し」を「なし」に設定すると、当日のみの録画になります。「あり」に設定すると、繰り返し録画する曜日を設定することができます。

視聴予約の場合

③ ▲▼◀▶で「視聴時刻」「繰り返し」を設定し、「登録する」を選び、(決定)を押す
- 「繰り返し」を「なし」に設定すると、当日のみの予約になります。「あり」に設定すると、繰り返し予約する曜日を設定することができます。

お好みチャンネル

お気に入りのチャンネルを、お好みチャンネルとして登録できます。
登録したお好みチャンネルは、「お好みチャンネル番組表」(☞P37)で表示することができます。

お好みチャンネル番組表の登録

① 番組表より、◀▶でお好みのチャンネルを選ぶ

② 青を押す
- お好みチャンネルの登録が完了します。
- お好みチャンネル番組表に登録されたチャンネルは、ワンタッチ番号が青アイコンに変わります。

※ワンタッチ番号が設定されていないチャンネルはチャンネルロゴの左に青●アイコンが表示されます。

登録済みのお好みチャンネルを解除

① 番組表を表示する

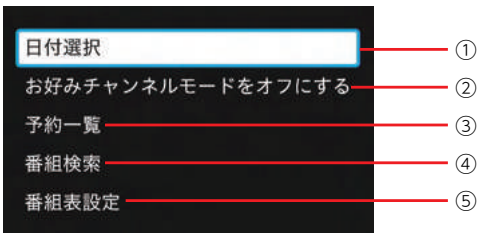
② ◀▶でお好みチャンネルに登録しているチャンネルを選び、青を押す
- お好みチャンネルの登録が解除されます。

サブメニュー

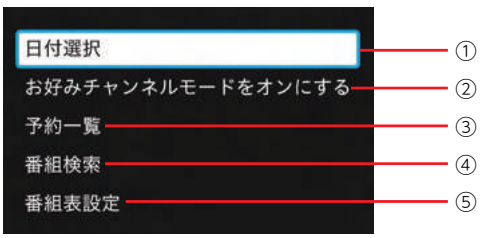
番組表の各種操作／設定をサブメニューより行います。

① 番組表を表示中に(サブメニュー)を押す
- サブメニューが表示されます。

〈お好みチャンネルモードがオンの場合〉



〈お好みチャンネルモードがオフの場合〉



①日付選択
- 日付選択画面を表示します

②お好みチャンネルモードをオン/オフにする
- お好みチャンネルモードを切り替えます。(☞P34)

③予約一覧
④番組検索
⑤番組表設定

番組表設定

② ▲▼で「番組表設定」を選び、(決定)を押す
- 下記の設定項目が表示されます。

サービス
- データ放送、ラジオ放送を表示対象にするか設定できます。

サブチャンネル
- 番組表にサブチャンネルを表示するか設定できます。

文字サイズ
- 番組表の文字サイズを設定できます。

ジャンル色
- 表示色に番組のジャンルを割り当てることができます。

チャンネル並び順
- 番組表のチャンネルの並び順を設定できます。

お好みチャンネル

お気に入りのチャンネルを「お好みチャンネル」として登録しておけば、番組表でお好みチャンネルだけを表示・検索することができます。

お気に入りのチャンネルをお好みチャンネルに登録／削除する

① 放送視聴（全画面表示）中に（番組表）を押す

② ◀▶でお好みチャンネルに登録したいチャンネルを選び、［青］を押す

- チャンネルがお好みチャンネルに登録されます。
  ※チャンネルが既にお好みチャンネルに登録済みの場合は、お好みチャンネルから削除されます

お好みチャンネルで選局する

以下の手順を行うと、「お好みチャンネルモード」に切り替わり、［∧ チャンネル ∨］での選局はお好みチャンネルに登録したチャンネルのみになります。

① 放送視聴（全画面表示）中に（サブメニュー ☰）を押す

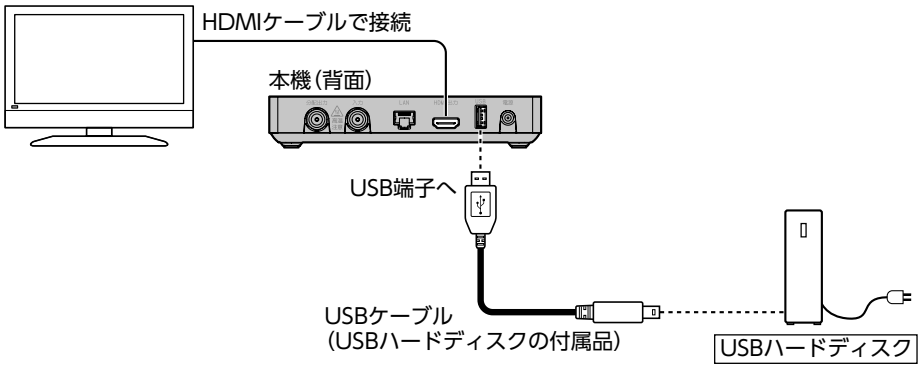
② ▲▼で「お好みチャンネルモードをオンにする」を選び、（決定）を押す

- 「お好みチャンネルモードオフにする」と表示されていたら、お好みチャンネルモードになっています。

USBハードディスクの設定

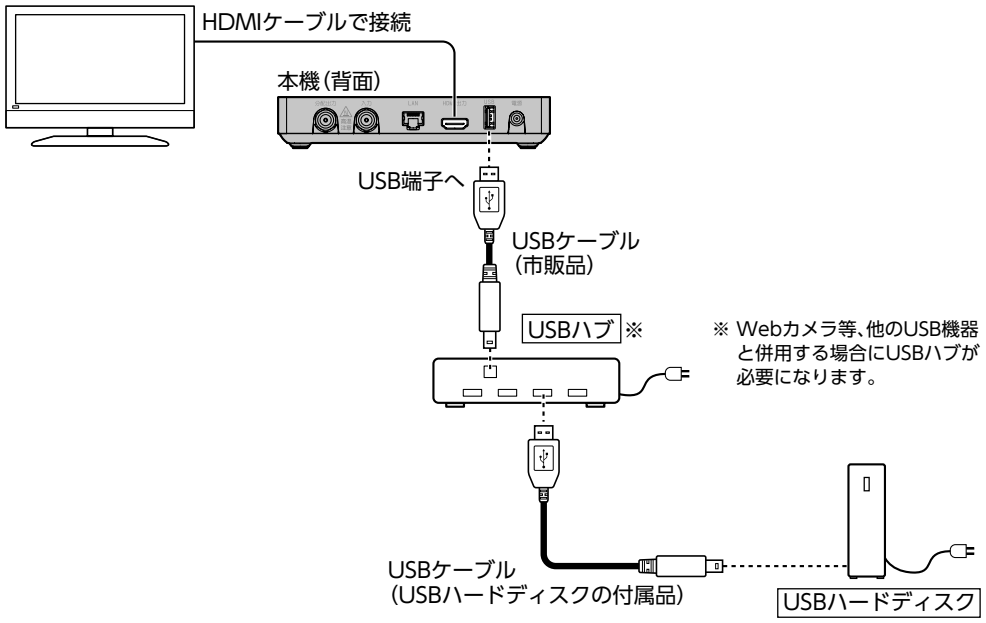
本機とUSBハードディスクの接続方法

本機とUSBハードディスクをUSBケーブル1本で直接接続して録画・再生する場合の接続方法です。



本機とUSBハードディスクの接続方法（USBハブ経由）

本機とUSBハードディスクをUSBケーブルでUSBハブに接続し、録画・再生する場合の接続方法です。
最大1台のUSBハードディスクを接続できます。



お知らせ

- バスパワーのUSBハブは使用しないでください。
- 本機との接続を推奨するUSBハードディスク/USBハブに関しては、
  https://www.jcom.co.jp/catv-service/stb-2/mini/recommendation/ をご参照ください。

USBハードディスクの設定

USBハードディスク録画に関するご注意

- お引越し等により本機を交換した場合、お客さまが登録された情報内容や番組録画データなどのデータは移し替えることができません。移し替えできないことによる損害および遺失利益につきましては、当社は一切責任を負いません。
- 本機はお客さまが映像を楽しむことを目的とした商品です。本機に接続したUSBハードディスク以外への録画方法や録画時のトラブルについては、当社サービスのサポート外となりますので、ご了承ください。
- 本機で録画したものは、著作権法上、個人または家庭内などで楽しむ以外には、権利者に無断で使用できません。なお、著作権法違反に基づく民事および刑事上の責任に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に接続したUSBハードディスクへ、以下の番組は録画できません。
  - 8K放送
  - 録画禁止の番組
  - VODサービス

  また、本機でUSBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクにコピー/移動することはできません。
- 本機でご利用いただけるUSBハードディスクは、当社が動作確認を行ったUSBハードディスクです。
  動作確認済みのUSBハードディスクは
  https://www.jcom.co.jp/catv-service/stb-2/mini/recommendation/ をご参照ください。
  動作確認済みのUSBハードディスクについては、同一メーカー、同一型番であっても動作を保証するものではありません。万一、動作確認済みのUSBハードディスクを利用できなかった場合でも、USBハードディスクの交換、買い取りなどには応じられませんのでご注意ください（ただし、ケーブルテレビ局から提供されたUSBハードディスクにつきましては、提供元のケーブルテレビ局へお問い合わせください）。
- 当社が動作確認を行ったUSBハードディスクを利用して録画できなかった場合、USBハードディスク内部のデータが削除された場合、USBハードディスクが壊れた場合、およびその他USBハードディスクに係るいかなる問題が発生した場合でも、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機にUSBハードディスクを接続してご利用される場合は、はじめに本機にて初期化する必要があります。
  初期化を実行すると、USBハードディスクに保存されているデータはすべて消去されるため、必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。
- USBハードディスクがパソコンなど他の機器でご利用いただけない状態の場合は、本機を用いて初期化を実行できないことがあります。
- 本機にUSBハードディスクを接続し、初期化を実行する場合は、本機が認識したUSBハードディスクの最大領域が初期化されます。
- 本機で初期化を実行したUSBハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本機専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。
  録画した番組が保存されているUSBハードディスクを他の機器に接続した場合は、録画した番組が再生できなくなる可能性があります。また、録画した番組が保存されているUSBハードディスクを他の機器で利用した場合は、利用後は、録画した番組の再生ができなくなりますのでご注意ください。
- 録画に使用するUSBハードディスクは、本機の背面USB端子に接続してください。

- 本機に同時に接続できるUSBハードディスクは、最大1台までです。
- 本機では、暗号化機能、および、認証機能を有したUSBハードディスクはご利用いただけません。これらの機能を停止しても、本機ではご利用いただけないことがあります。
- 本機では、RAID機能を有したUSBハードディスクはご利用できません。また、機能を停止しても、本機ではご利用いただけないことがあります。
- 大切な番組を録画される場合は、事前に試し録りするなど、機器が正しく動作することを確認してからご利用ください。
- 録画中、録画した番組の再生中、または録画予約中に、停電、もしくはACアダプターを電源コンセントから抜くなどにより、本機への通電が断たれると、USBハードディスクに録画した番組が損なわれることがあります。
- 停電などにより、本機への通電が断たれたため生じた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの設定

機器登録する

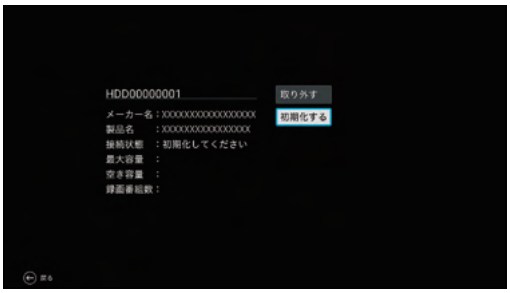
USBハードディスクを本機に接続して使用するために、機器登録が必要です。

① P24「テレビ設定」手順③で「録画機器設定」を▲▼で選び、(決定)を押す

② 接続しているUSBハードディスクが選択されていることを確認し、(決定)を押す

③ ▲▼で「初期化する」を選び、(決定)を押す

• ハードディスク初期化の確認画面が表示されます。



④ ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

• USBハードディスクの初期化が始まります。

お知らせ

- 初期化を行うと、USBハードディスク内のすべてのデータが消去されます。
- 初期化中にUSBケーブル、ACアダプターを抜くと故障の原因となりますので、絶対におやめください。

登録済みUSBハードディスクの設定

デフォルト録画先の変更

接続しているUSBハードディスクをデフォルト録画先に変更します。
接続するUSBハードディスクを変更した際に下記操作を行ってください。

③ ▲▼で「デフォルト録画先に変更する」を選び、(決定)を押す

- 選択したUSBハードディスクが「デフォルト録画先」となります。

USBハードディスクの取り外し

③ ▲▼で「取り外す」を選び、(決定)を押す

- USBハードディスクの取り外しを開始します。

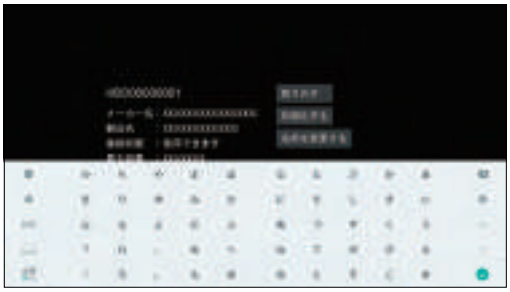
表示名の変更

USBハードディスクの表示名を変更します。

③ ▲▼で「名前を変更する」を選び、(決定)を押す

④ 表示名を入力する

- 文字入力について(☞P78)



USBハードディスクの設定

USBハードディスクの初期化

USBハードディスクを初期化します。録画された番組など、USBハードディスクに保存されたデータはすべて消去されます。

③ ▲▼で「初期化する」を選び、(決定)を押す

④ ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

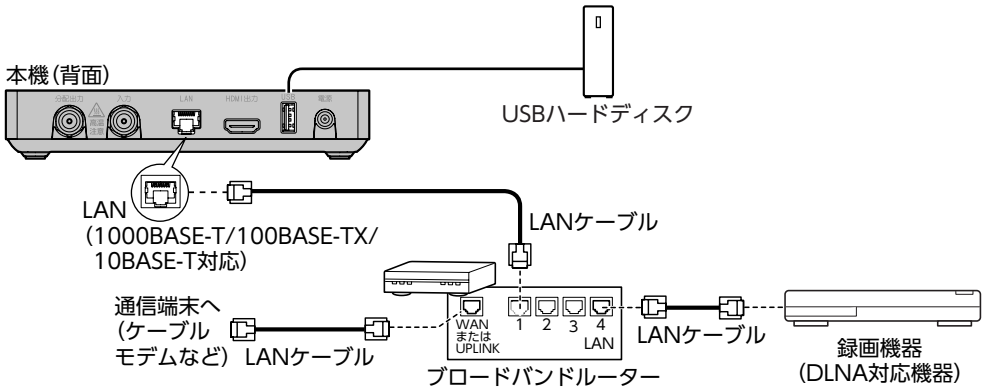
・初期化を開始します。

LAN録画の準備

本機と同じネットワーク上に接続した録画機器(DLNA対応録画機器)に録画することができます。
(☞P49〜61)
録画をするためには、録画機器側の設定が必要となる場合があります。
※本機と録画機器の接続状況はホームネットワークのサーバー機器一覧(☞P69)でご確認ください。

本機と録画機器の接続

本機とDLNA対応録画機器を、ブロードバンドルーターを経由して接続する方法です。



お願い

- 本機とブロードバンドルーター間、録画機器とブロードバンドルーター間は有線LAN接続することを推奨します。
- ご利用のホームネットワーク環境により、録画が正常に実行されない場合があります。

お知らせ

- 本機とDLNA対応録画機器を直接、有線LAN端子で有線接続した場合、本機からインターネット接続ができなくなり、一部の録画機能によっては正しく動作しないため推奨いたしません。
- 録画中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- DLNA対応録画機器への録画は、ホームネットワークのトラフィック状況により正常に行えない場合があります。正常に行えない場合は、ホームネットワーク上の他の機器で大容量のファイルを転送などしていないかご確認ください。
- LAN録画のみによる2番組同時録画はできません。2番組同時録画をご要望の場合、USBハードディスク(別売り)をご利用ください。
- 「録画予約を登録しました。※録画機器の状態が確認できませんでした。機器がホームネットワークに接続されているかご確認ください。」が表示された場合、接続を確認してから再度お試しください。
- ブロードバンドルーターのDHCP機能は「有効」(IPアドレスを自動で割り当てる)に設定することを推奨します。(ブロードバンドルーターのDHCP機能を「無効:IPアドレスを固定にしている」に設定している場合は、本機側もIP設定を「静的」に設定してください。)
- 4K放送のLAN録画は行えません。また、一部のご加入のケーブルテレビ局の運用により、CATV放送のLAN録画は行えない場合があります。
- 他の機器でLAN録画した番組は、本機で再生できない場合があります。
- 本機でLAN録画した番組が、他の機器で再生できない場合があります。
- DLNA対応録画機器はJLabs SPEC-020に準拠した機器をご使用ください。録画機器の仕様によってはLAN録画できない場合もあります。
  ご使用のDLNA対応録画機器がJLabs SPEC-020に準拠した機器かどうかは
  https://www.jlabs.or.jp/judging/judging-dlna/dlna-equipment をご確認ください。

番組を即時録画する

視聴中の番組を録画する

視聴中の番組（テレビ全画面表示中）を即時録画します。

① ○録画 を押す

放送中の2番組を同時に録画する

現在放送中の2つの番組を同時に録画できます。

① 録画する番組を選局する（全画面表示）

② ○録画 を押す
→録画がスタートし、本機前面の録画ランプが赤色点灯します。

③ 手順①、②を繰り返して、2つ目の番組を録画する

録画を停止する

（番組を全画面表示）

① ■停止 を押す

② 録画中の番組を選び、決定 を押す

③ ◀▶で「はい」を選び、決定 を押す

2番組同時録画中

・2番組同時録画実行中は、以下の選択画面が表示されます。

② ▲▼で録画を停止する番組を選び、決定 を押す

③ ◀▶で「はい」を選び、決定 を押す
・選択した番組の録画を停止します。

お知らせ

- 電源「切」状態での録画の停止は、本機の電源を「入」にして視聴状態（テレビ全画面表示）に戻してから、「停止」ボタンを押してください。
- 動作状態（再生中など）により、即時録画できない場合があります。
- USBハードディスクに録画中でも、録画済みの番組や録画中の番組を再生することができます。（☞P54）
- 録画中は本機の電源を「切」にしても録画は継続します。
- USBハードディスクが休止状態の場合は、録画・再生の立ち上り動作に時間がかかります。
- 番組によっては、録画できない番組もあります。
- 録画中は他の機能との同時動作に制限が生じる場合があります。（☞P92）

録画予約する

録画予約時のご注意

- デジタル放送には、著作権保護のために録画を制限している番組があり、録画禁止番組は録画することができません。
- 視聴制限のある番組を録画する時、視聴可能年齢を設定していると、暗証番号を入力する必要があります(☞P86)
- LAN録画では複数の番組を同時に録画できません。
- LAN録画を行う場合、外部録画機器がLAN録画に対応している必要があります。対応機器かどうか確認してください。
- LAN録画は、本機とDLNA対応録画機器 (☞P58) を同じホームネットワークに接続し、両方で設定する必要があります。(☞P18、47)
- 録画予約時に、USBハードディスクに録画可能な時間が残っているか確認してください。録画可能時間が十分でない場合は録画番組一覧画面より不要な録画番組を消去してください。(☞P55)

番組表(EPG)から録画予約する

番組表(EPG)を表示する

■リモコンから

① 〈番組表〉を押す

番組表で簡単予約する

■リモコンから

② ▲▼◀▶で録画したい番組にフォーカスを合わせ、[赤]を押す
→録画予約が完了します。

■番組詳細画面から

② ▲▼◀▶で録画したい番組にフォーカスを合わせ、(決定)を押す

③ ▲▼で「かんたん録画」を選び、(決定)を押す
→録画予約が完了します。

※簡単予約した番組は、デフォルト録画先に指定したUSBハードディスクに録画されます。(☞P45)
※未契約の番組は予約できません。

番組表で録画予約する

② ▲▼◀▶で録画したい番組を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で「繰り返し録画」、「詳細録画」を選び、(決定)を押す
・ 録画予約画面が表示されます。

④ 設定項目を確認し、「予約する」、「登録する」を選び、(決定)を押す

録画予約する

録画予約の繰り返し録画設定

① 番組表を押す

② ▲▼◀▶で録画したい番組を選び、決定を押す

③ ▲▼で「繰り返し録画」を選び、決定を押す
- 繰り返し録画画面が表示されます。

④ ◀▶で繰り返し予約する曜日を選び、決定を押す（複数選択可）
- 選択した曜日に✓が付きます。

⑤ ▲▼で「予約する」を選び、決定を押す
- 繰り返し録画の設定が完了します。

※繰り返し録画を登録すると、登録された次の録画から予約時刻の前後3時間で類似の番組を検索し、見つかった全ての番組を予約登録します。
登録した番組が見つからなかった場合、登録した番組の時刻で時間指定録画を行います。
予約した番組が日時変更などで見つからなかった場合正しく録画されない可能性があります。大事な番組を録画する際は必ず予約一覧や番組表から録画予約が行われているか確認していただき、必要に応じて番組指定予約をしてください。

録画予約の詳細設定

① P50「録画予約の繰り返し録画設定」手順①、②にて録画したい番組を選ぶ

② ▲▼で「詳細録画」を選び、決定を押す
- 録画予約画面が表示されます。

録画機器を変更する

③ ▲▼で「録画機器: 」を選び、決定を押す
- 登録済みのUSBハードディスク／DLNA対応録画機器を一覧で表示します。

④ ▲▼で録画先の機器を選び、決定を押す
- 録画する機器が設定されます。

録画時間を指定する

③ ▲▼で「録画時刻: 」にフォーカスを合わせ、決定を押す

④ ▲▼で「時間指定予約に変更する」を選び、決定を押す
- 時間指定予約に変更画面が表示されます。

⑤ ▲▼◀▶で時間を選び、時間を変更する
（時間の入力はリモコンボタンの 1 〜 10 0 で行います）
- 上段に表示されている日時は録画開始時間になります。
  下段に表示されている日時は録画終了時間になります。

⑥ ▲▼で「確定する」を選び、決定を押す
- 設定が完了します。

繰り返し録画

③ ▲▼で「繰り返し:」の「なし」または「あり」にフォーカスを合わせ、(決定)を押す

④ 以下の方法で、曜日を指定する

<繰り返し録画を行わない場合>

「なし」を選び、(決定)を押す

・ 繰り返しなしで設定が完了します。

<繰り返し録画を行う場合>

a. 「あり」を選び、(決定)を押す

・ 曜日を指定できるようになります。

b. ◀▶で録画予約する曜日を選び、(決定)を押す(複数選択可)

・ 選択した曜日に✓が付きます。
・ 繰り返し録画する曜日が設定されます。
・ 選択した曜日の録画時刻で毎週録画します。
・ 上記以外で録画時間を設定する場合は、「録画時間を指定する」で録画日時を変更します。

※繰り返し録画を登録すると、登録された次の録画から予約時刻の前後3時間で類似の番組を検索し、見つかった全ての番組を予約登録します。
登録した番組が見つからなかった場合、登録した番組の時刻で時間指定録画を行います。

録画予約の詳細設定完了後

▲▼◀▶で「登録する」を選び、(決定)を押す

・ 録画予約が完了します。

時間を指定して予約する

録画したいチャンネル、時間を指定して、録画予約することができます。

① P49「番組表(EPG)を表示する」手順①にて番組表を表示する

② ▲▼◀▶で任意の番組を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で「詳細録画」を選び、(決定)を押す

④ ▲▼で「録画時刻:」の右に記載されている時刻を選び、(決定)を押す

⑤ ▲▼で「時間指定予約に変更する」を選び、(決定)を押す

[時刻を指定する]

⑥ ▲▼◀▶で「録画開始時刻(上段)」「録画終了時刻(下段)」を選び、時間を変更する

・ 時間の入力はリモコンボタンの 1 〜 10(0) で行います。

⑦ ▲▼で「確定する」を選び、(決定)を押す

⑧ ▲▼で「登録する」を選び、(決定)を押す

・ 録画予約が登録されます。

録画機器を変更する

録画機器の変更について(☞P50)

繰り返し録画を指定する

繰り返し録画について(同ページ左上)

録画予約する

検索して録画予約する

録画したい番組を検索して、録画予約することができます。

① ホーム を押す

② テレビメニューから◀▶で「番組検索」を選び、決定を押す

フリーワード検索

③ ◀▶で「キーワードを入力してください」を選び、決定を押して、検索キーワードを入力する

・文字入力について(☞P78)

④ ▲▼で検索結果の中から録画したい番組を選び、決定を押す
・番組詳細画面が表示されます。

⑤ ▲▼で「かんたん録画」を選び、決定を押す
・「繰り返し録画」を選ぶと、「繰り返し録画画面」となります。
・「詳細録画」を選ぶと、「詳細録画画面」となります。
・「視聴予約」を選ぶと、「視聴予約画面」となります。

ジャンル検索

③ ◀▶で「すべてのジャンル」を選び、決定を押し、▲▼で「ジャンル」を選び、決定を押す

④ ▲▼で検索結果の中から録画したい番組を選び、決定を押す
・番組詳細画面が表示されます。

⑤ ▲▼で「かんたん録画」を選び、決定を押す
・「繰り返し録画」を選ぶと、「繰り返し録画画面」となります。
・「詳細録画」を選ぶと、「詳細録画画面」となります。
・「視聴予約」を選ぶと、「視聴予約画面」となります。

検索結果の絞り込み(放送)

検索結果を放送の種類で絞り込むことができます。

⑥ フリーワード検索またはジャンル検索の手順③で表示された検索結果画面のとき、▲▼◀▶で「すべての放送」を選び、決定を押す

⑦ ▲▼で「放送」を選び、決定を押す
・検索対象に設定した放送の番組のみが検索結果に表示されます。

検索結果の絞り込み(日付)

検索結果を日付で絞り込むことができます。

⑥ フリーワード検索またはジャンル検索の手順③で表示された検索結果画面のとき、▲▼◀▶で「すべての日付」を選び、決定を押す

⑦ ▲▼で「日付」を選び、決定を押す
・検索対象に設定した日付の番組のみが検索結果に表示されます。

検索結果の並び替え(日付順／タイトル順)

検索結果を日付順／タイトル順に並び替えることができます。

⑥ フリーワード検索またはジャンル検索の手順③で表示された検索結果画面のとき、▲▼◀▶で「日付順」を選び、決定を押す

⑦ ▲▼で「タイトル順」を選び、決定を押す
・タイトル順に検索結果が切り替わります。

録画予約の確認・修正・消去

録画予約を確認する

① ホーム を押す

② テレビメニューから◀▶で「予約一覧」を選び、決定を押す

③ 予約一覧より、確認したい録画予約を選び、決定を押す
- 録画予約画面を開きます。

録画予約を修正する

① 上記「録画予約を確認する」手順③で録画予約画面を開く
- 各編集手順はP50「録画予約の詳細設定」をご参照ください。

② 修正後、▲▼◀▶で「変更する」を選び、決定を押す
- 録画予約の修正が完了します。

録画予約を削除する

① 上記「録画予約を確認する」手順③で録画予約画面を開く

② ▲▼◀▶で「削除する」を選び、決定を押す
- 録画予約が削除されます。

予約失敗履歴

録画予約が失敗した場合、お知らせ画面の「予約失敗履歴」に通知されます。(☞P28)

USBハードディスクの番組を再生・操作する

録画番組一覧画面では録画した番組の再生(録画中の番組も可能)、消去などを行うことができます。

録画番組を再生する

■リモコンから

① 録画 を押す
- 右記の手順②へ

■テレビメニューから

① ◀▶で録画一覧を選び、決定を押す
- 録画番組一覧画面が表示されます。

② ▲▼で再生したい番組を選び、決定を押す
- 未視聴番組は、最初から再生します。
- 一度再生された録画番組は、続きから再生できます。

お知らせ

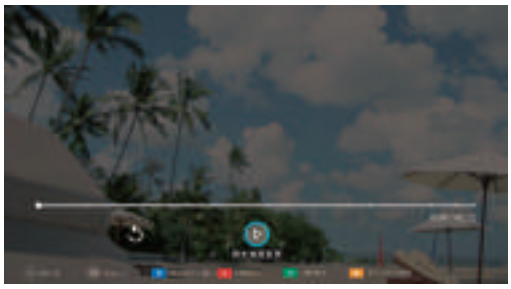
- USBハードディスクに録画中の番組も再生することができます。
- 録画用ハードディスクが接続されていない場合、該当の録画用ハードディスクおよび保存されている番組は表示されません。

早見再生する

録画番組再生中に1.5倍速で再生させることができます。

③ 録画番組再生中に決定を押す

④ ▼で再生速度変更ボタンを選び、決定を押す
- 1.5倍速で再生されるようになります。
- 1倍速で再生させたい場合は、再度③、④の手順を行ってください。
- 4K放送の録画コンテンツでは早見再生を行うことができません。



サブメニューの表示

録画番組再生中にサブメニューを表示し、各操作を行うことができます。

③ 録画番組再生中に（サブメニュー）を押す
- サブメニューが表示されます。

④ ▲▼で項目を選び、（決定）を押す

録画番組再生中

録画番組再生中のサブメニュー項目は、以下のとおりです。

サブメニュー項目	参照ページ
番組詳細	下記

番組詳細

- 録画番組の詳細が表示されます。

録画番組の消去

① 録画番組一覧（上記「録画番組を再生する」手順②）で、▲▼◀▶で消去したい録画番組を選び、赤を押す

② ◀▶で「はい」を選び、（決定）を押す
- 録画番組が消去されます。
- 録画中、ダビング中の録画番組は録画を停止するか確認されます。

録画番組の保護／保護解除

録画番組を保護する

① 録画番組一覧で、▲▼◀▶で保護したい録画番組を選び、黄を押す
- 保護に設定すると、プレビュー画面の番組タイトルの左に🔒が表示され、録画番組の消去が禁止になります。

録画番組の保護を解除する

① 録画番組一覧で、▲▼◀▶で保護された録画番組を選び、黄を押す
- 保護を解除すると🔒が消え、消去可能になります。

USBハードディスクの番組を再生・操作する

再生中のリモコン操作について

操作内容	操作ボタン
一時停止	再生/一時停止 ▶/II • 再生を一時停止します。 • 再度押すと再生を再開します。 ▲▼◀▶ • 再生を一時停止します。
停止	■停止 または 戻る • 再生を停止し、録画一覧に移動します。
早送り	早送り ▶▶ • 押すたびに、再生速度が速くなります。 • 再生/一時停止 ▶/II を押すと通常の再生速度に戻ります。
早戻し	早戻し ◀◀ • 押すたびに、早戻し速度が速くなります。 • 再生/一時停止 ▶/II を押すと通常の再生速度に戻ります。
スキップ再生	前 次 または 青 黄 • チャプターがある場合、1つ前または次のチャプターへ移動します。
10秒戻し	赤 または 10秒戻し • 約10秒前に移動して再生します。
15秒送り	緑 または 15秒送り • 約15秒先に移動して再生します。
サブメニュー	サブメニュー • 視聴メニューを表示します。 ▲▼で項目を選び、決定を押す。 –「番組詳細」:(☞P55)

録画番組詳細

① P54「■テレビメニューから」手順②で、
決定の代わりに 緑 を押す

録画番組を再生する（最初から／続きから）

② ◀▶で「つづきから再生」または「はじめから再生」を選び、決定を押す

複数の録画を操作する

① P54「■テレビメニューから」手順②で、
決定の代わりにサブメニューを押す

複数消去

複数の録画番組をまとめて消去できます。

② ▲▼で「複数番組削除」を選び、決定を押す

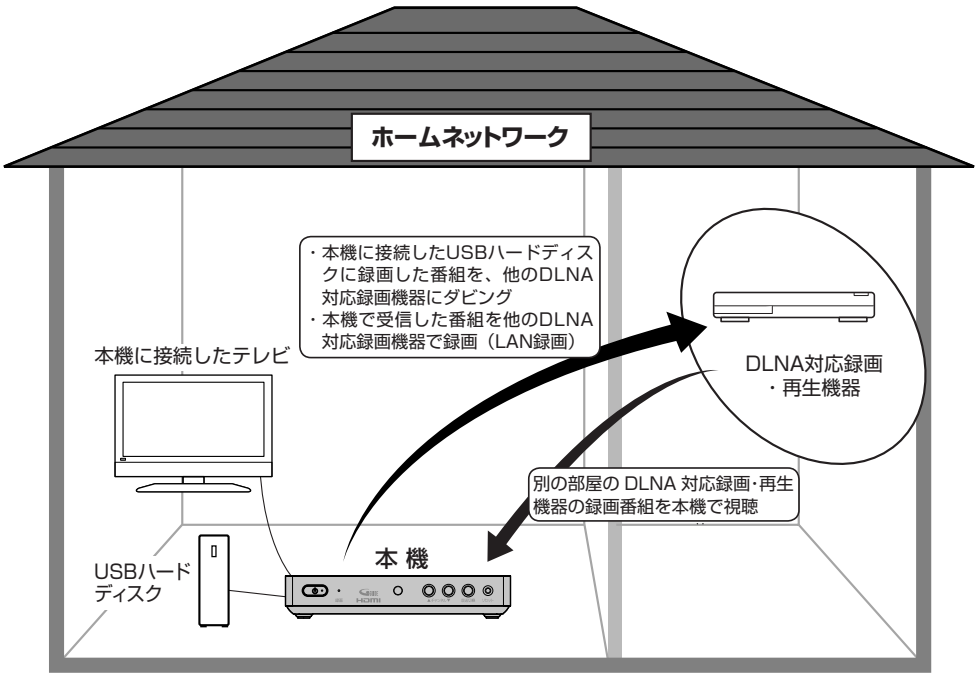
③ ▲▼で消去したい録画番組を選び、
決定を押す
・選択した録画番組には✓が表示されます。

④ ▲▼◀▶で「削除する」を選び、決定を押す

⑤ ◀▶で「はい」を選び、決定を押す
・選択した録画番組が消去されます。

DLNA（ホームネットワーク）の準備

ご家庭内のホームネットワークに本機を接続することにより、同じホームネットワーク内のDLNA対応機器に対して、下記のような操作ができます。



- DLNAとは?
  DLNAとは、ホームネットワーク上でメーカーが異なるテレビやDLNA対応録画機器、ネットワーク対応HDD、モバイル機器などをつないで映像や音楽などのデータをやり取りできるようにするためのガイドラインです。
  以下の機能があります。
  - DMS（デジタルメディアサーバー）：録画番組や受信した番組をDMRやDMPに配信します。
  - DMP（デジタルメディアプレイヤー）：DMSに保存されている録画番組や番組を再生します。
  - DMC（デジタルメディアコントローラー）：DMSに保存されている録画番組や番組を選び、DMRへ配信させます。
  - DMR（デジタルメディアレンダラー）：DMCからの操作に従って、録画番組や番組を再生します。

  ※本機で行えるDLNA機能はDMP（デジタルメディアプレイヤー）機能のみです。

DLNA(ホームネットワーク)について

本機で利用できるDLNA対応機器や機能

- **DLNA対応テレビやDLNA対応録画・再生機器**
  ※本機とDLNA対応録画機器を同一のホームネットワークに接続し、それぞれ設定する必要があります。
  - **DLNA対応録画機器へのダビング、LAN録画、DMP再生**
    「ダビング」(☞P70)
    本機に接続したUSBハードディスクに録画した番組をDLNA対応録画機器へダビングすることができます。
    「LAN録画」(☞P18、47、49～52)
    本機で予約した番組をDLNA対応録画機器で録画(LAN録画)できます。
    「DMP機能」(☞P60)
    DLNA対応録画機器で録画した番組や、放送中の番組を本機で再生できます。

お知らせ

- ネットワーク機器側でも設定が必要な場合があります。詳しくはネットワーク機器の取扱説明書をご確認ください。
- DLNAに対応しているネットワーク機器でも、機種や番組(コンテンツ)によっては本機と連携して使用できない場合があります。あらかじめ、ネットワーク機器の取扱説明書をご確認ください。
- DLNA機能動作中にネットワーク設定を変更すると、DMP機能での再生が中断したり、LAN録画やダビングが正常に行えない場合がありますのでご注意ください。
- BS4Kなどの4K放送のLAN録画は行えません。
- 一部のご加入のケーブルテレビ局の運用によっては、CATV放送のLAN録画は行えない場合があります。
- 録画中の番組はダビングできません。
- 4K放送などの一部の番組はダビングできません。

DLNA（ホームネットワーク）について

DLNA対応機器の番組を本機で再生する（DMP機能）

本機とDLNA対応録画機器を同じホームネットワークに接続し、本機とDLNA対応機器をそれぞれ設定する必要があります。本機の設定は（☞P68）

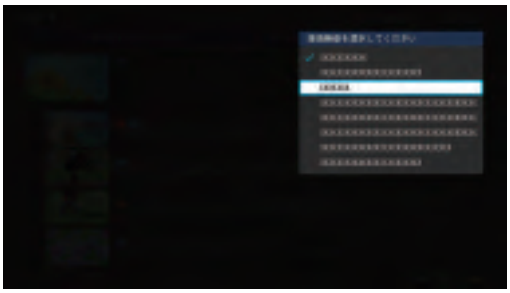
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容や、DLNA対応機器の仕様によっては、DMP機能をご利用できない場合があります。

① テレビメニューから◀▶で録画番組一覧を選び、決定を押す

- 録画番組一覧画面が表示されます。

② ▲▼◀▶で「録画機器」を選び、決定を押す

※USBハードディスク接続時は接続しているUSBハードディスクの名前が表示されている個所になります。USBハードディスク未接続時は、同じホームネットワークに接続されているDLNA対応機器が表示されている個所になります。



③ DLNA対応機器を選び、決定を押す

④ ▲▼で見たい録画番組または放送番組を選び、決定を押す

- 再生中のリモコン操作方法は、56ページをご参照ください。
- 放送番組の場合は、早送り等の操作や途中からの再生は行えません。

DLNA対応機器の録画番組の消去

① P60「DLNA対応機器の番組を本機で再生する（DMP機能）」手順④で、消去したい録画番組を選び、赤を押す

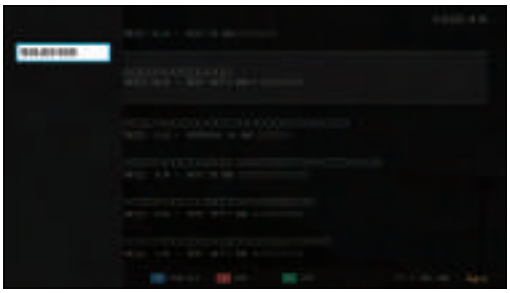
② ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

・録画番組が消去されます。

DLNA対応機器の録画番組の複数消去

① P60「DLNA対応機器の番組を本機で再生する（DMP機能）」手順④で、決定の代わりにサブメニューを押す

・DLNA対応機器の録画番組複数消去メニューが表示されます。



② ▲▼で「複数選択削除」を選び、決定を押す

③ ▲▼で消去したい録画番組を選び、決定を押す

・選択した録画番組には✓が表示されます。

④ ▲▼◀▶で「削除する」を選び、決定を押す

⑤ ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

・選択した録画番組が消去されます。

お知らせ

・DLNA対応機器の番組は消去されない場合があります。

設定

本機の接続が完了したら、以下の設定を行ってください。

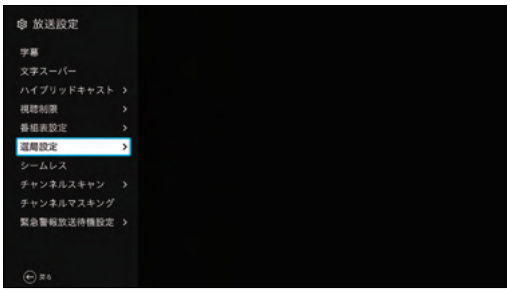
① P24「テレビ設定メニューの操作」手順②で「放送設定」を▲▼で選び、(決定)を押す

ワンタッチ選局

ワンタッチ選局設定より、番組のチャンネル番号の設定をお好みに合わせて変更することもできます。

- よくご覧になるチャンネルを、リモコンの数字ボタンに登録しておくと便利です。

② ▲▼で「選局設定」を選び、(決定)を押す



③ ▲▼で「ワンタッチ選局設定」を選び、(決定)を押す

現在の設定が表示されます。

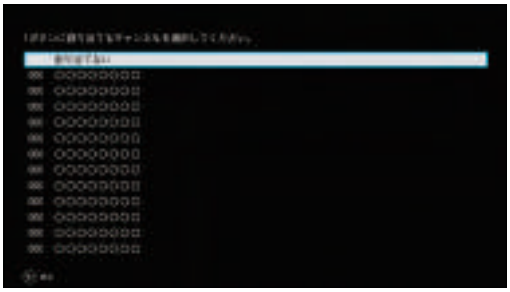
チャンネル入換

リモコンの数字ボタンに割り当てるチャンネルを設定できます。

④ ▲▼で設定する放送を選び、(決定)を押す

⑤ 修正したいチャンネルのリモコン番号(1〜12)を押す

⑥ ▲▼で割り当てたいチャンネルを選び、(決定)を押す



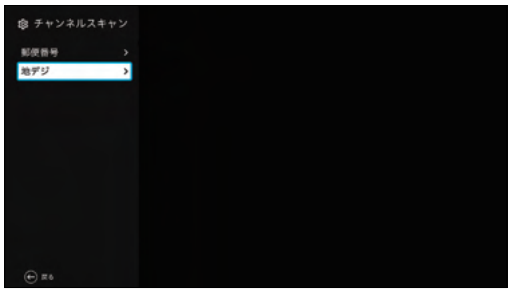
- 受信している放送のみ表示されます。
  ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なる場合があります。

チャンネルスキャン

地上デジタルのチャンネルスキャン

② ▲▼で「チャンネルスキャン」を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で「地デジ」を選び、(決定)を押す

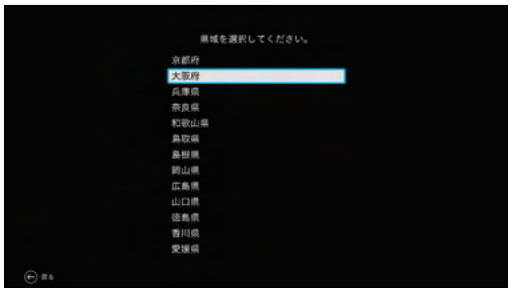


④ 「郵便番号設定」画面より、1 ～ 10(0) で郵便番号を入力する

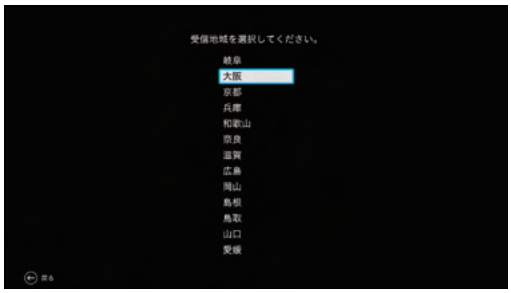
■入力を間違えたとき

◀で間違えた個所にフォーカスを移動し、正しい数字を入力する

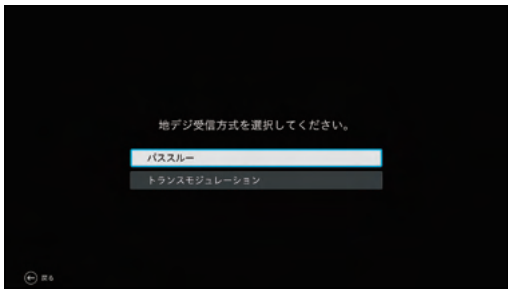
⑤ 「県域設定」画面より、▲▼でお住いの県を選び、(決定)を押す



⑥ 「受信地域設定」画面より、▲▼でお住いの地域を選び、(決定)を押す



⑦ 「地デジ受信方式設定」画面より、▲▼でチャンネル受信方式を選び、(決定)を押す



※設定の変更でご不明な点は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

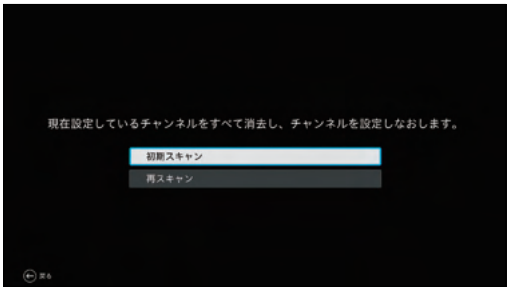
設定

地上デジタルの初期スキャン

これまでの地上デジタルチャンネル設定を削除し、改めて自動で地上デジタル放送の受信チャンネルを設定します。

※地上デジタル放送のチャンネルが視聴できなくなる可能性があります。設定の変更は、必ずご加入のケーブル局にお問い合わせの上行ってください。

⑧ ▲▼で「初期スキャン」を選び、(決定)を押す



- 「チャンネルスキャンを実行しています」と表示され、受信可能なチャンネルをスキャンします。
  ※スキャン中は映像と音声は出ません。
- スキャンが完了すると「チャンネルスキャンを終了しました。」画面が表示されます。

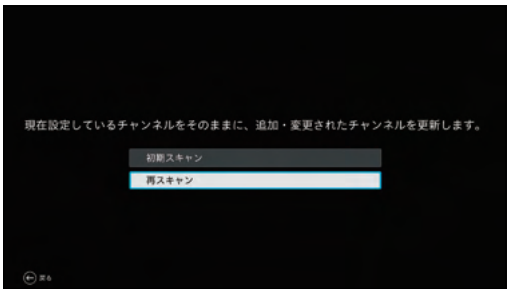
⑨ 「チャンネルスキャンを終了しました」画面が表示されたことを確認し、(決定)を押す

地上デジタルの再スキャン

地上デジタル放送の受信チャンネルが変わったとき、受信できる局を自動で追加できます。

⑧ ▲▼で「再スキャン」を選び、(決定)を押す

- 「チャンネルスキャンを実行しています。」と表示され、受信可能なチャンネルをスキャンします。
- スキャンが完了すると「チャンネルスキャンを終了しました。」画面が表示されます。



⑨ 「チャンネルスキャンを終了しました。」画面が表示されたことを確認し、(決定)を押す

チャンネルマスキング

番組表の表示やチャンネル選局を視聴可能チャンネルのみに設定します。

② ▲▼で「チャンネルマスキング」を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で「オン」を選び、(決定)を押す

- チャンネルマスキング設定を元に戻すには、「オフ」を選びます。

緊急警報放送待機設定

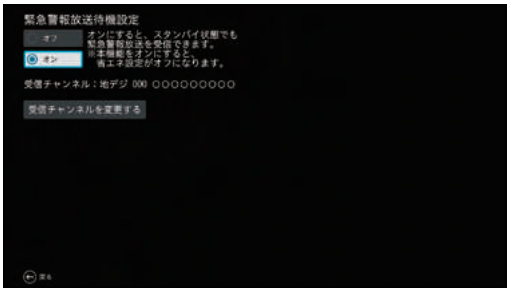
本設定を有効にすると、緊急警報放送を本機の電源「切」状態で受信することができます。また、受信する場合の放送種別とチャンネルを指定することができます。

① P24「テレビ設定」手順③で「放送設定」を▲▼で選び、決定を押す

② ▲▼で「緊急警報放送待機設定」を選び、決定を押す

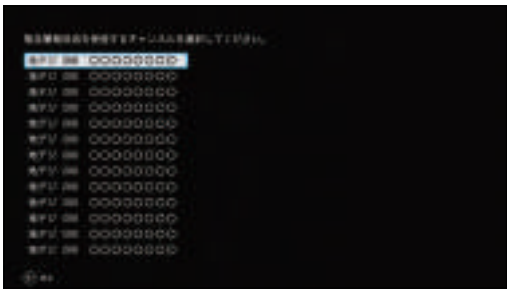
③ ▲▼で「オン」を選び、決定を押す

- 工場出荷時は設定オフになっております。
- 緊急警報放送を受信する場合の「放送種別」と「チャンネル」を設定してください。



受信するチャンネルの設定

④ ▲▼で「受信チャンネルを変更する」を選び、決定を押す
▲▼で緊急放送を受信するチャンネルを選び、決定を押す



設定

HDMI端子の出力設定

HDMIケーブルで接続したときの映像や音声の設定をします。
設定内容は以下のとおりです。

設定項目	設定内容		初期状態
HDMI出力解像度	自動	自動的に解像度を調整します。	自動
	1080p	有効走査線数1080本の順次走査(プログレッシブ)	
	1080i	有効走査線数1080本の飛び越し走査(インターレース)	
HDRフォーマット	自動	自動的にフォーマットを設定します。	自動
	HDR10	HDR10に対応しているテレビに接続する場合に設定します。	
	HLG	HLGに対応しているテレビに接続する場合に設定します。	
	SDR	SDRに対応しているテレビに接続する場合に設定します。	
サラウンドサウンド	自動	AACに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。 AACとは、Advanced Audio Codingの略称で、音声符号化の規格の1つです。 AACは、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。 ※自動設定を選択した場合、接続したTVやオーディオ機器によっては音声が正しく出力されなかったり、切り替え操作等が行えない場合があります。 ※BS4Kのパススルーには対応していません。	なし
	なし	AACに対応していないオーディオ機器を接続する場合に設定します。	

HDMI出力解像度の設定

① P26「システム設定」手順③で「デバイス設定」を▲▼で選び、(決定)を押す

② ▲▼で「HDMI設定」を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で「HDMI出力解像度」を選び、(決定)を押す

④ ▲▼で設定(自動または任意の解像度)を選び、(決定)を押す

・出力解像度が設定されます。

HDRフォーマットの設定

③ ▲▼で「HDRフォーマット」を選び、決定を押す

④ ▲▼で設定を選び、決定を押す

・HDRフォーマットが設定されます。

サウンドの設定

① P26「システム設定」手順③ で「デバイス設定」を▲▼で選び、決定を押す

② ▲▼で「ディスプレイと音」を選び、決定を押す

③ ▲▼で「サウンド」行の「音の詳細設定」を選び、決定を押す

④ ▲▼で設定（自動またはなし）を選び、決定を押す

・音声出力が設定されます。

ネットワーク関連の設定

本機をインターネット、ホームネットワークに接続するための設定です。
- インターネットへの接続方法は、ご加入のケーブルテレビ局とのご契約内容により異なる場合があります。
  詳しくはご加入のケーブルテレビ局か、ご加入のプロバイダーにお問い合せください。

LANの設定

① P26「システム設定」手順③で「ネットワークとインターネット」を▲▼で選び、(決定)を押す

IPアドレスを設定する

② ▲▼で「IP設定」を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で「DHCP」「静的」のどちらかを選び、(決定)を押す

DHCP IPアドレスやDNSアドレスを自動で取得する

静的 IPアドレスやDNSアドレスを手動で入力する

「静的」を選択したとき

ご加入のケーブルテレビ局の指示に従い以下の設定を行ってください。
- 文字入力について(☞P78)
- 範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

④ IPアドレスを入力する

⑤ ゲートウェイを入力する

⑥ ネットワークプレフィックス長を入力する

⑦ DNS1を入力する

⑧ DNS2を入力する

お知らせ
- IPアドレスは、ネットワーク上で個々の機器を識別するために割り振られる番号です。
- ゲートウェイは、ルーターなど、インターネットアクセスをおこなう機器のIPアドレスです。
- ネットワークプレフィックス長は、IPアドレスを絞り込むための数字です。
- DNS (Domain Name System) は、URLを元に、接続先のIPアドレスを検索するデータベースのIPアドレスです。

プロキシを設定する

② ▲▼で「プロキシ設定」を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で「手動」を選び、(決定)を押す
- 各項目は、ご加入のケーブルテレビ局の指示に従って入力してください。
- 設定後、一度電源を「切」にし、再度電源を「入」にしてください。

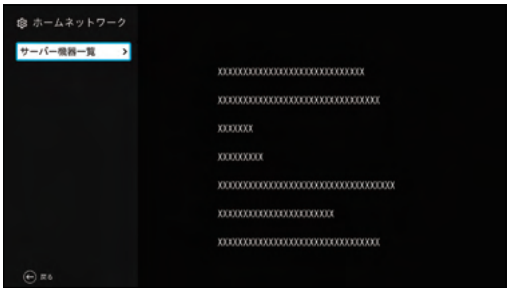
ホームネットワーク設定

DLNA対応機器(サーバー)を一覧表示する

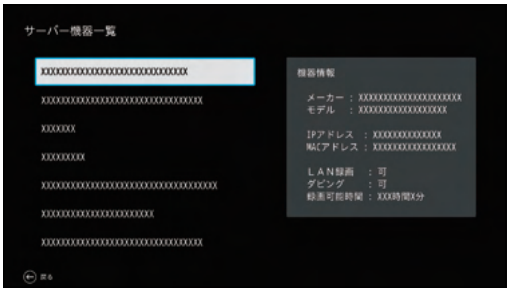
ホームネットワークに接続しているDLNA対応機器を一覧表示します。
接続している機器がLAN録画、ダビングに対応しているか確認できます。

① P24「テレビ設定」手順②で「ホームネットワーク」を▲▼で選び、(決定)を押す

② ▲▼で「サーバー機器一覧」を選び、(決定)を押す



③ ▲▼でサーバー機器にフォーカスを合わせ機器情報を確認する



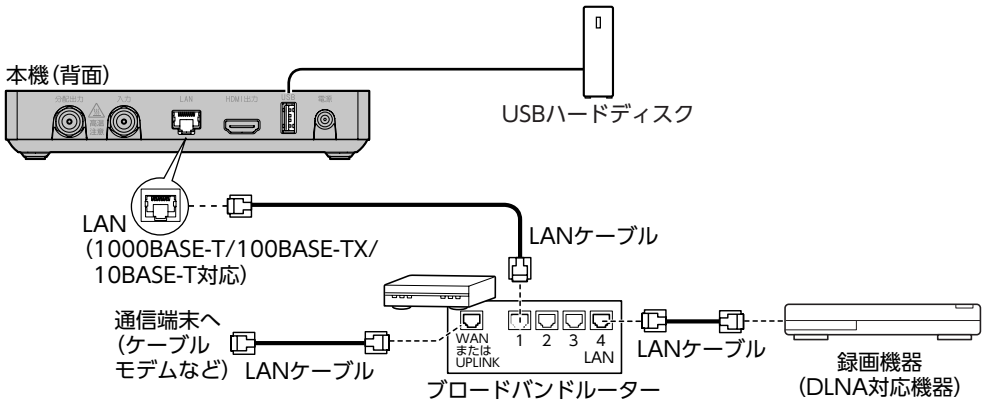
- 「LAN録画」が「可」　：LAN録画が可能です。
- 「ダビング」が「可」　：ダビングが可能です。

ダビングする

本機に接続したUSBハードディスクに録画した番組を、同じホームネットワークに接続しているDLNA対応録画機器にダビングすることができます。(コピー制限について☞P73)
ダビングをするためには、本機と録画機器側のそれぞれの設定が必要になります。
※本機の設定は「ネットワーク関連の設定」☞P68、録画機器側の設定はお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機と録画機器の接続

本機とDLNA対応録画機器を、ブロードバンドルーターを経由して接続する方法です。



ダビングした内容の補償に関する免責事項について

本機の故障、誤動作、接続機器の不具合あるいは受信障害や停電などの原因により、正常にダビングができなかった場合の内容の補償、ダビングした内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

お願い

- ブロードバンドルーターやケーブルモデムはLAN端子が100BASE-TX以上のものをご使用ください。
- 本機に接続するLANケーブルは「カテゴリ5e」以上をご使用ください。
- ダビング中は、本機および録画機器の電源を切らないでください。録画番組のデータが破損するおそれがあります。
- LANケーブルの抜き差しは、本機および録画機器の電源を切った状態でおこなってください。
- ご利用のネットワーク環境により、ダビングが正常に実行されない場合があります。

お知らせ

- 本機とDLNA対応録画機器の接続状態は、ホームネットワークのサーバー機器一覧（☞P69）で確認できます。対象の録画機器が一覧に表示されていない場合は本機と録画機器の設定や接続を確認してください。
  （本機の設定は、「ネットワーク関連の設定」☞P68 録画機器側の設定は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。）
- 本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- ブロードバンドルーターのDHCP機能は「有効」（IPアドレスを自動で割り当てる）に設定することを推奨します。（本機の設定は通常、「有効」に設定されています。ブロードバンドルーターのDHCP機能を「無効：IPアドレスを固定にしている」に設定している場合は、本機側もIP設定を「静的」に設定してください。）
- DLNA対応録画機器へのダビングは、ホームネットワークのトラフィック状況により正常に行えない場合があります。正常に行えない場合は、ホームネットワーク上の他の機器で大容量のファイルを転送などしていないかご確認ください。
- DLNA対応録画機器はJLabs SPEC-020に準拠した機器をご使用ください。録画機器の仕様によってはダビングできない場合もあります。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機で録画したBS4Kなどの4K放送コンテンツはダビングすることができません。

ダビングする

ダビングする

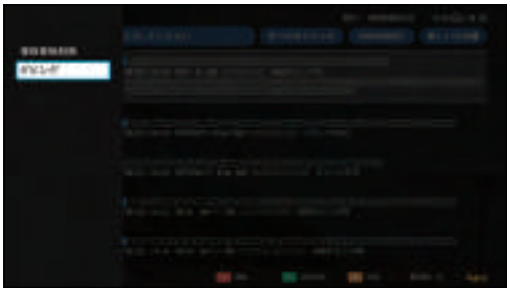
本機に接続したUSBハードディスクに録画した番組を、同じホームネットワークに接続しているDLNA対応録画機器へダビングします。

① テレビメニューから◀▶で録画番組一覧を選び、(決定)を押す
- 録画番組一覧が表示されます。

〈録画番組一覧〉

② (サブメニュー)を押す

〈録画番組一覧のサブメニュー〉



③ ▲▼で「ダビング」を選び、(決定)を押す

④ ▲▼でダビングしたい録画番組を選び、(決定)を押す
- 選択した録画番組には✓が表示されます。

〈ダビング先選択画面〉

⑤ ▲▼◀▶で「決定」を選び、(決定)を押す
- ダビング先選択画面が表示されます。

⑥ ▲▼でダビング先の機器名を選び、(決定)を押す
- ダビング実行確認ダイアログが表示されます。

⑦ ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す
- ダビングが実行されます。

お知らせ

- 録画中の番組はダビングできません。
- 一部の番組はダビングできません。
- ダビング中はDLNA対応録画機器を操作したり、電源を切ったりしないでください。ダビングが失敗または中断する場合があります。
- ダビングにはJLabs SPEC-020に準拠したDLNA対応録画機器をご使用ください。
  最新情報は、**https://www.jlabs.or.jp/judging/judging-dlna/dlna-equipment** をご確認ください。
- ダビング残り回数が1回の録画番組は、ダビングが正常に終了するとUSBハードディスク内より元の番組は削除されます(※保護設定(☞P55)をしている場合は、保護設定を解除してからダビングしてください)。
- ダビング速度はネットワークの接続状況、録画番組の録画時間により変わります。
- ダビングが正常に終了したかを確認するには、「ダビング履歴一覧」(☞P74)でご確認ください。

ダビングを中止する

⑧ P72「ダビングする」手順②で、▲▼でダビングを中止したい録画番組を選び、赤を押す

⑨ ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

- ダビングを中止します。
- ダビング履歴について（☞P74）

コピー制限（ムーブ／コピー）について

USBハードディスク内の録画番組を他のDLNA対応録画機器へダビングする際、放送される番組に付加されているコピー制御情報によってダビング残り回数が制限されます。
（録画番組がコピーフリーの場合、ダビング残り回数は無制限です。）
ダビング残り回数によってダビングがコピーまたはムーブになります。

（コピー）
ダビング残り回数が2回以上の録画番組をダビングした場合、ダビング先に録画番組を複製（コピー）します。
- ダビングが成功した場合、USBハードディスク内の録画番組はダビング残り回数が1つ減ります。

（ムーブ）
ダビング残り回数が1回の録画番組をダビングした場合、ダビング先に録画番組を移動（ムーブ）します。
- ダビングが失敗した場合、録画番組はUSBハードディスク内に残ります。

ダビングする

ダビングの履歴を見る

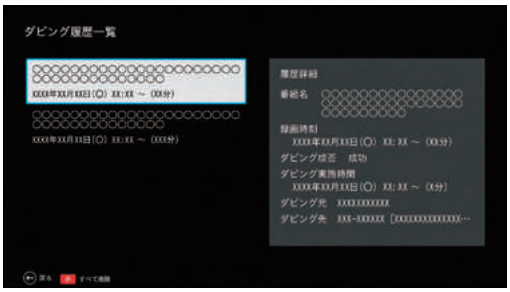
本機からダビングした履歴を見ることができます。ダビングの成功・失敗、詳細内容を確認できます。

① P24「テレビ設定」手順②で「ダビング設定」を▲▼で選び、(決定)を押す

② 「ダビング履歴一覧」で、(決定)を押す

③ ▲▼で確認したい録画番組の履歴を選ぶ

- 履歴の詳細が表示されます。
- 赤 を押すと、すべての履歴が削除されます。



HDMIでの本機とテレビの連動設定

本機と接続しているテレビがHDMI連携機能に対応している場合、設定により、テレビに連動して本機の電源「入」「切」などの操作を行うことができます。

HDMI機器制御設定

本機とテレビとを連動させるためには、「HDMI機器制御」設定を行います。

① P26「システム設定」手順③で「デバイス設定」を▲▼で選び、決定を押す

② ▲▼で「HDMI設定」を選び、決定を押す

③ ▲▼で「HDMI機器制御」を選び、決定を押す

④ ▲▼で「オン」を選び、決定を押す

HDMIでの本機とテレビの連動設定

本機とテレビの電源を連動する

本機とテレビの電源操作を連動させることができます。
• テレビ側でもHDMIの設定を行ってください。

③ ▲▼で「電源オフ連動」を選び、(決定)を押す

④ ▲▼で「オン」を選び、(決定)を押す

「HDMI機器制御」の項目を「オン」に設定している場合に「オン」設定が有効になります。
オン　本機の電源を「入」「切」するとテレビの電源も「入」「切」になる
オフ　電源オフ連動を無効にする

お知らせ

- HDMI連携機能に対応したテレビをご使用頂く必要があります。
- テレビ側も連携機能の設定を行う必要があります。テレビ側の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とテレビの接続は、HDMI規格に準拠したケーブルをご使用ください。
- ご使用のテレビにより、電源オフ連動しない、または一部のみ(電源「切」のみなど) 連動する場合があります。

テレビのリモコンで本機を操作する

テレビのリモコンで本機を操作することができます。

③ ▲▼で「TVリモコンで操作」を選び、(決定)を押す

④ ▲▼で「オン」を選び、(決定)を押す

「HDMI機器制御」の項目を「オン」に設定している場合に「オン」設定が有効になります。
オン　テレビのリモコンで本機の操作を可能にする
オフ　テレビのリモコンでの操作を無効にする

お知らせ

- 設定完了後は、テレビ側もHDMIの設定を行ってください。
- 操作方法については、テレビの取扱説明書をご確認ください。

USBハードディスク／ハブ動作確認一覧

- 推奨機器は追加・変更される場合があります。最新の推奨機器は下記URLをご参照ください。
  https://www.jcom.co.jp/catv-service/stb-2/mini/recommendation/
- 本機とUSBハードディスクの接続方法（☞P41）
- USBハードディスク録画に関するご注意（☞P42）
- バスパワーのUSBハブは使用しないでください。

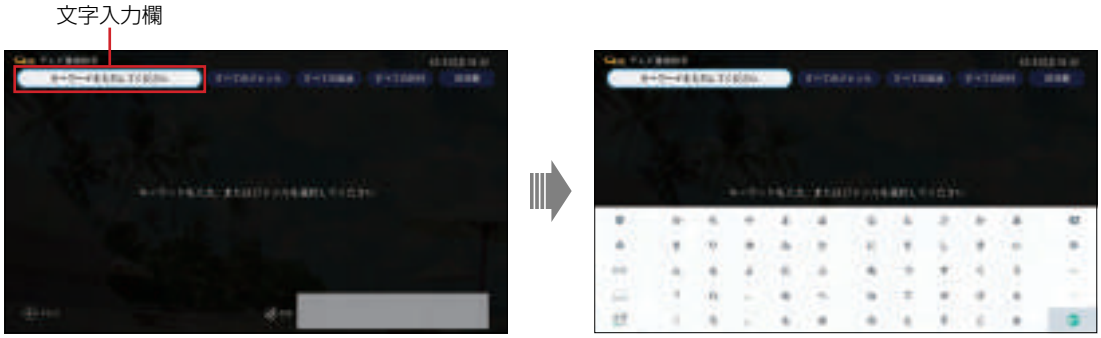
文字入力について

ソフトウェアキーボードを使って文字を入力する

ソフトウェアキーボードとは、画面に表示されたキーボードを使い文字入力を行う機能です。
リモコンを使って文字入力を行います。

表示方法

ソフトウェアキーボードの表示方法：各文字入力欄で(決定)を押す



- ソフトウェアキーボードが表示されます。

文字入力方法

キーボードの入力モードを切り替える

▲▼◀▶で、画面左下の「文字」を選び、決定を押す
- ■“あ”の文字：ひらがな
- ■“A”の文字：英数字
- ■“1”の文字：数字、記号

• 決定を押すたび、切り替わります。

文字の入力

① ▲▼◀▶で、画面左下の「文字」を選び、決定を押し、入力モードを切り替える

② ▲▼◀▶で入力する文字を選び、決定を押す
- 入力欄に選んだ文字が入力されます。
- 小文字は「大⇔小」で切り替わります。
- 入力した文字に応じて変換候補が表示されます。連続して文字を入力することで、目的の変換に近づきます。

③ 変換したい候補が表示されたら、▲▼◀▶で選択し、決定を押す
- 文字が変換されます

④ 入力したい言葉が完成したら、▲▼◀▶で画面右下のマークを選び、決定を押す
- 入力欄に入力した文字が反映されます。

ひらがな（文字 あA1 の表示）

英数字（文字 あA1 の表示）

数字、記号（文字 あA1 の表示）

最新の状態にする

システム更新設定

新しいソフトウェアの更新方法を選ぶことができます。

ソフトウェアの更新について
本機の制御プログラムを最新のものに書き換え、本機を最新の状態にします。

自動更新

ソフトウェアの更新情報が届いた場合、電源「切」時に自動的にソフトウェアの更新を実行します。

1. **P26「システム設定」手順③で「デバイス設定」を▲▼で選び、決定を押す**
2. **▲▼で「システム更新設定」を選び、決定を押す**
3. **「自動更新」で、決定を押す**
4. **▲▼で「オン」を選び、決定を押す**

お知らせ

- 自動更新の値を「オフ」に設定するとシステム更新が自動で行われないため、ソフトウェアを最新に保つために「オン」の設定を推奨します。
  初期状態では「オン」が設定されています。
- 自動更新の値を「オフ」に設定していても、緊急性の高いシステム更新の情報が届いた場合、自動更新が行われることがあります。
- 更新中は本機前面の電源ランプが緑点滅します。

アプリのアップデート

テレビメニューなどのシステムアプリケーションや、ケーブルテレビ局が提供するアプリケーションを最新の状態に更新します。

更新方法

1. **P26「システム設定」手順③で「アプリ」を▲▼で選び、決定を押す**
2. **▲▼で「アプリのアップデート」を選び、決定を押す**
3. **◀▶で「はい」を選び、決定を押す**

4. **最新アプリの問い合わせ完了後、決定を押す**

- アプリメニューに移動します。
- アップデートに5～10分程度かかる場合があります。
- 最新のシステムアップデートが無い場合も、問い合わせ完了画面が表示されます。
- 途中で中断するには、リターンを押してください。

お知らせ

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、ご利用できない場合があります。
- 更新中は故障の原因となるので、以下の動作は行わないでください。
  - 本機の電源を切る
  - ACアダプターを電源コンセントから抜く

便利な設定(テレビ)

順送りできるチャンネルを設定する

選局対象を設定する

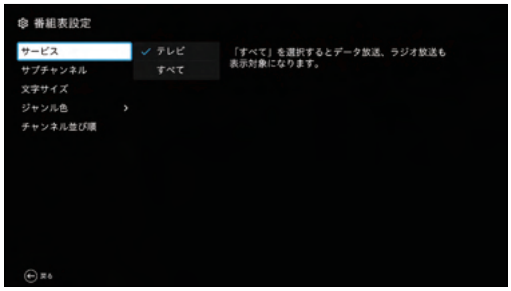
リモコンのチャンネルアップ／ダウンキーを押して選局できる対象を設定します。

- お好みチャンネル選局モード(☞P40)中は、お好みチャンネルに登録しているチャンネルのみの選局になります。

① **P24「テレビ設定」手順②で「放送設定」を▲▼で選び、(決定)を押す**

② **▲▼で「番組表設定」を選び、(決定)を押す**

③ **▲▼で「サービス」を選び、(決定)を押す**



④ **▲▼で設定項目を選び、(決定)を押す**

テレビ(工場出荷時)
テレビ放送(映像+音声)のチャンネルのみ

すべて 現在受信可能なすべてのチャンネル

シームレスを設定する

② **上記の手順②で「シームレス」を▲▼で選び、(決定)を押す**

③ **▲▼で以下を設定し、(決定)を押す**

オフ 地上デジタル/BSデジタル/BS4K/CATV放送などの各放送内で選局する

オン 地上デジタル/BSデジタル/BS4K/CATV放送などの各放送をまたいで選局する

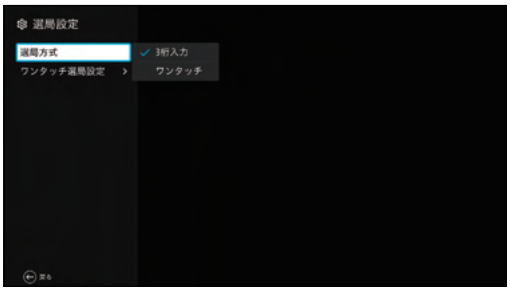
チャンネルの入力方式を設定する

チャンネル選局の方式を、数字ボタンに割り当てられたチャンネルで選局するか、3桁のチャンネル番号を入力して選局するか設定します。

① **P24「テレビ設定」手順②で「放送設定」を▲▼で選び、(決定)を押す**

② **▲▼で「選局設定」を選び、(決定)を押す**

③ **▲▼で「選局方式」を選び、(決定)を押す**



④ **▲▼で設定項目を選び、(決定)を押す**

3桁入力
数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選局

ワンタッチ
「ワンタッチ選局」(☞P62)で設定した数字ボタンでチャンネルを選局

- 「3桁入力」に設定したときのチャンネル番号の入力のしかたは、30ページをご覧ください
- 「ワンタッチ」に設定したときのチャンネルの選び方は、30ページをご覧ください

文字スーパーを設定する

② **▲▼で「文字スーパー」を選び、(決定)を押す**

③ **▲▼で以下を設定し、(決定)を押す**

オフ 文字スーパーを表示しない

第一言語 文字スーパーを第一言語で表示する

第二言語 文字スーパーを第二言語で表示する

便利な設定（テレビ）

字幕を設定する

② ▲▼で「字幕」を選び、決定を押す

③ ▲▼で以下を設定し、決定を押す

オフ　　字幕を表示しない
第一言語　字幕を第一言語で表示する
第二言語　字幕を第二言語で表示する

・字幕「オン」「オフ」の切り換えは字幕切換でもできます。

便利な設定(リモコン)

本機のリモコンにテレビのメーカーを設定する

本機のリモコンを設定することで、お手持ちのテレビの基本的な操作(電源の「入」「切」、入力切換、音量調整)ができます。

■設定方法

TV電源 ボタンを押したまま、以下の対応表からお手持ちのテレビのメーカーに対応する数字ボタンを順番に押す。(※工場出荷時は「パナソニック 1」に設定)

例:パナソニック2　TV電源 (押したまま)　3 (押す) → 2 (押す)

テレビメーカー	ボタンを順番に押す
シャープ 1	1 と 1
シャープ 2	1 と 2
シャープ 3	1 と 3
LG	1 と 7
Sony 1	2 と 1
Sony 2	2 と 2
ハイセンス 1	2 と 7
ハイセンス 2	2 と 8
ハイセンス 3	2 と 9
ハイセンス 4	2 と 10
ハイセンス 5	2 と 11
パナソニック 1	3 と 1
パナソニック 2	3 と 2
パナソニック 3	3 と 3
パナソニック 4	3 と 4
パナソニック 旧	3 と 5
東芝	3 と 7
アイリスオーヤマ 1	4 と 1
アイリスオーヤマ 2	4 と 2
アイリスオーヤマ 3	4 と 3
フナイ	4 と 7
フナイ 4K	4 と 8

テレビメーカー	ボタンを順番に押す
オリオン 1	5 と 1
オリオン 2	5 と 2
オリオン 3	5 と 3
オリオン 4	5 と 4
オリオン 5	5 と 5
三菱 1	5 と 7
三菱 2	5 と 8
三菱 3	5 と 9
三菱 4	5 と 10
ユニテク 1	6 と 1
ユニテク 2	6 と 2
ユニテク 3	6 と 3
ユニテク 4	6 と 4
ユニテク 5	6 と 5
ユニテク 6	6 と 6
日立 1	10 と 1
日立 2	10 と 2
日立 3	10 と 3
日立 4	10 と 4
ピクセラ 1	10 と 5
ピクセラ 2	10 と 6
Samsung	10 と 7

テレビメーカー	ボタンを順番に押す
三洋 1	10 と 8
三洋 2	10 と 9
三洋 3	10 と 10
三洋 4	10 と 11
Dynaconnective	10 と 12
ビクター	11 と 1
パイオニア	11 と 2
Byd:sign 1	11 と 3
Byd:sign 2	11 と 4
Byd:sign 3	11 と 5
Byd:sign 4	11 と 6
PHILIPS 1	11 と 8
PHILIPS 2	11 と 9
ユニデン	11 と 10
NEC	11 と 11
アイワ	12 と 1
DXアンテナ	12 と 2
富士通ゼネラル	12 と 3

お知らせ

- 上記の対応表にないメーカーのテレビは設定できません。
- 上記の対応表で対応しているメーカーでも、動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。
- 同じメーカーで設定が2種類以上ある場合は、それぞれお試しの上、動作する設定をご使用ください。

便利な設定（リモコン）

よく使うアプリを設定する

よく使うアプリをテレビ電話ボタンに設定すると、簡単にアクセスすることができます。
ボタン設定後は、リモコンの（テレビ電話）を押すだけでアプリを起動できます。

① P26「システム設定」手順③で「デバイス設定」を▲▼で選び、（決定）を押す

② ▲▼で「テレビ電話ボタン設定」を選び、（決定）を押す

③ ▲▼でアプリを選び、（決定）を押す
- リモコンの他のボタンで起動ができる番組表や録画一覧は表示されません。

お知らせ

- 初期設定ではかんたんテレビ電話アプリが設定されています。
- テレビ電話ボタンに設定できるアプリは1つです。変更する場合は、新しく設定したいアプリを再度設定してください。
- 設定したアプリのアップデートやアンインストールなどで設定したアプリが起動できなくなる場合があります。その場合は、アプリを再度設定してください。

使い方に合わせて利用する

録画時の設定を変更する

録画時の設定を変更することができます。

録画機能設定

① P24「テレビ設定」手順②で「録画設定」を▲▼で選び、(決定)を押す

録画番組自動消去

USBハードディスクが録画番組で一杯になったとき、自動で消去するか設定します。

② ▲▼で「自動削除」を選び、(決定)を押す

③ ▲▼で以下を設定し、(決定)を押す

オフ　自動削除を行いません。
オン　視聴済みの録画番組から優先して自動削除を行います。

※保護されている録画番組は自動消去されません。

視聴年齢制限を設定する

- 視聴制限をする年齢を設定します。
- 設定した制限を超える番組の視聴時は暗証番号の入力が必要となります。
- 視聴年齢制限を超える番組は番組表などで「***」で表示されます。

暗証番号の入力

① P24「テレビ設定」手順②で「放送設定」を▲▼で選び、(決定)を押す

② ▲▼で「視聴制限」を選び、(決定)を押す
- 暗証番号入力画面が表示されます。

③ 画面の指示に従って 1 ～ 10(0) で4桁の暗証番号を入力する
- 工場出荷時の暗証番号は「0000」です。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしてください。

視聴可能な年齢を制限する

④ ▲▼で「視聴可能年齢を変更する」を選び、(決定)を押す

⑤ ▲▼◀▶で視聴可能とする年齢の下限を選び、(決定)を押す
- 設定できる年齢は「4歳（工場出荷時）」～「19歳」（1歳単位）、「無制限」です。
- 視聴年齢制限を超える番組は番組表などで「***」で表示されます。

使い方に合わせて利用する

暗証番号を変更する

④ ▲▼で「暗証番号を変更する」を選び、(決定)を押す

⑤ 1 ～ 10(0)で、新しい4桁の暗証番号を入力する

⑥ 画面の指示に従って再度、4桁の暗証番号を入力する

> 登録した暗証番号は、忘れないようにメモをしてください。

制限解除の期限を設定する

④ ▲▼で「視聴制限の有効期間を変更する」を選び、(決定)を押す

⑤ ▲▼で「電源オフまで」「選局まで」のどちらかを選び、(決定)を押す

電源オフまで(工場出荷時)
本機の電源を切るまで制限解除が有効

選局まで
チャンネルを変えるまで制限解除が有効

本機のいろいろな情報を確認する

ACAS ID(ACAS番号)／C-CASカードの番号などを見る

① P24「テレビ設定」手順②で「情報表示」を▲▼で選び、「ACASチップID」／「C-CASカードID」の項目を確認する

お知らせ

- ACAS ID（ACAS番号）は、本機の裏面にも記載されております。

ストレージの残容量を確認する

① P26「システム設定」手順③で「デバイス設定」を▲▼で選び、決定を押す

② ▲▼で「ストレージ」を選び、決定を押す

③ ▲▼で「内部共有ストレージ」を選び、決定を押す

④ ▲▼で「使用可能」の項目の合計容量を確認する

本機を初期化する

データの初期化

本機の設定を初期状態に戻します。

ご加入のケーブルテレビ局との契約を解除する場合以外には実行しないでください。

① **P26「システム設定」手順③で「デバイス設定」を▲▼で選び、決定を押す**

② **▲▼で「デバイス情報」を選び、決定を押す**

③ **▲▼で「出荷時設定にリセット」を選び、決定を押す**

④ **▲▼で「出荷時設定にリセット」を選び、決定を押す**

⑤ **▲▼で「すべて消去」を選び、決定を押す**

「データの初期化」のメッセージが表示されます。

自動的に再起動します。

故障の原因となるので、初期化中は本機の電源を絶対に切らないでください。

テレビ設定/システム設定メニュー

テレビ設定/システム設定メニューの表示(☞P24、26)
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、設定内容・表示が異なる場合があります。
- 各アプリケーションのバージョンにより、設定内容・表示が異なる場合があります。

■テレビ設定

設定項目	設定内容
放送設定	字幕
	文字スーパー
	ハイブリッドキャスト
	視聴制限
	番組表設定 　サービス 　サブチャンネル 　文字サイズ 　ジャンル色 　チャンネル並び順
	選局設定 　選局方式 　ワンタッチ選局設定
	シームレス
	チャンネルスキャン 　郵便番号 　地デジ
	チャンネルマスキング
	緊急警報放送待機設定
録画設定	自動削除
録画機器設定	
ダビング設定	ダビング履歴一覧
ホームネットワーク	サーバー機器一覧
利用情報	
お知らせ	予約失敗履歴
	放送メール
情報表示	

テレビ設定/システム設定メニュー

■システム設定

設定項目	設定内容
ネットワークとインターネット	
ネットワークとインターネット	(有線LAN) 接続状況 プロキシ設定 IP設定
アプリ	
アプリ	(最近開いたアプリ) アプリをすべて表示
	(権限) アプリの権限 特別なアプリアクセス セキュリティと制限
	(更新) アプリのアップデート
デバイス設定	
デバイス情報	デバイス名
	出荷時設定にリセット
	ステータス
	法的情報
	モデル
	OSバージョン
	OSセキュリティパッチレベル
	カーネルバージョン
	OSビルド
テレビ電話ボタン設定	
HDMI設定	HDMI出力解像度
	HDMI機器制御
	電源オフ連動
	TVリモコンで操作
	HDRフォーマット
システム更新設定	自動更新
日付と時刻	日付と時刻の自動設定
	日付の設定
	時刻の設定
	タイムゾーンの設定
	24時間表示の仕様

設定項目	設定内容
言語	日本語
	English
キーボード	現在のキーボード
	iWnn IMEの設定
	キーボードの管理
ディスプレイと音	(ディスプレイ) コンテンツのフレームレートを合わせる ディスプレイの詳細設定
	(サウンド) システム音 音の詳細設定
ストレージ	(デバイスのストレージ) 内部共有ストレージ
スクリーンセーバー	スクリーンセーバー
	起動までの時間
	今すぐ起動
電源と省エネ設定	(省エネ設定) 省エネ設定
	(自動的にOFFにする) 操作していないとき
マイク	マイクへのアクセス
	(最近アクセスしたアプリ) マイクへのアプリのアクセス
カメラ	カメラへのアクセス
	(最近アクセスしたアプリ) カメラへのアプリのアクセス
再起動	

アイコン一覧

- 本機は下記のアイコン(機能表示のシンボルマーク)により、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、アイコンが正しく表示されない場合があります。

	画　像	意　味
番組表(EPG)	(赤)	録画中
	(赤)	録画予約
	(緑)	視聴予約
	(赤)	繰り返し録画予約
	(緑)	繰り返し視聴予約
		実行不可
		一部実行不可
録画一覧	(赤)	録画実行中
		録画番組(未視聴)
		録画番組・保護
ホームネットワーク		録画番組・保護
予約失敗履歴		未読な予約失敗履歴
放送メール		未読な放送メール

同時動作と優先動作について

本機は、本機による録画や再生を含む動作を最大4つまで同時に行うことができます。
また、USBハードディスクへの録画や再生中でも、ホームネットワーク内のDLNA対応録画機器への録画（LAN録画）や録画番組のダビングを行うことができます。

実行中の動作 ＼ 新たな動作		TV視聴	かんたんテレビ電話	USBハードディスク			DLNA対応機器		
				録画（2K）	録画（4K）	再生	録画（LAN録画）	再生（DMP）	ダビング
TV視聴中		—	—	○	○	—	○	—	○
かんたんテレビ電話	かんたんテレビ電話使用中	—	—	○	○	—	○	—	○
	かんたんテレビ電話使用中+1番組を録画中	—	—	○	○	—	○	—	○
	かんたんテレビ電話使用中+2番組を録画中	—	—	×	×	—	×	—	○※7
	かんたんテレビ電話使用中+録画（LAN録画）	—	—	○	○	—	×	—	×
	かんたんテレビ電話使用中+ダビング中	—	—	○	○	—	○※4	—	×
	かんたんテレビ電話使用中+ 2番組を録画中（LAN録画含む）+ダビング中	—	—	×	×	—	×	—	×
	かんたんテレビ電話使用中+1番組を録画中+ダビング中	—	—	○	○※4	—	○※4	—	×
USBハードディスク	1番組を録画中	○	○	○	○	○	○	○	○
	2番組を録画中	○※9	○	×	×	○※7	×	○	○※7
	1番組を録画中+再生中	—	—	○	○※10	—	○	—	○
	2番組を録画中+再生中	—	—	×	×	—	×	—	○
	再生中	—	—	○	○	—	○	—	○
DLNA対応機器	録画中（LAN録画）	○	○	○	○	○	×	○	×
	録画中（LAN録画）+再生中（DMP）	—	—	○	○	—	×	—	×
	再生中（DMP）	—	—	○	○	—	○	—	○
	再生中（DMP）+ダビング中	—	—	○	○	—	○※4	—	×
	ダビング中	○	○	○	○	○	○※4	○	×
USBハードディスク+ DLNA対応機器	録画中（USBハードディスク）+再生中（DMP）	—	—	○※2	○※2	—	○※2	—	○※7
	録画中（USBハードディスク）+ダビング中	○※9	○	○※2	○※2 ※4	○	○※2 ※4	○	×
	録画中（USBハードディスク）+再生中（USBハードディスク/DMP）+ダビング中	—	—	○※2	○※2 ※4※8	—	○※2 ※4	—	×
	2番組を録画中（USBハードディスク+LAN録画）	○※9	○	×	×	○	×	○	×
	再生中（USBハードディスク）+録画中（LAN録画）	—	—	○	○	—	×	—	×
	再生中（USBハードディスク）+ダビング中	—	—	○	○	—	○※4	—	×
TV視聴+ USBハードディスク	TV視聴中+1番組を録画中	—	—	○※1	○※1	—	○※1	—	○
	TV視聴中+2番組を録画中	—	—	×	×	—	×	—	○※7
TV視聴+ DLNA対応機器	TV視聴中+1番組を録画中（LAN録画）	—	—	○※1	○※1	—	×	—	×
	TV視聴中+ダビング中	—	—	○	○	—	○※4	—	—
TV視聴+ USBハードディスク+ DLNA対応機器	TV視聴中+1番組を録画中（USBハードディスク）+ダビング中	—	—	○※1	○※1 ※3※4	—	○※3 ※4※5 ※6"	—	×
	TV視聴中+2番組を録画中（USBハードディスク/LAN録画）+ダビング中	—	—	×	×	—	×	—	×

ただし、同時動作には以下の制限があります。

- 本機による録画は、USBハードディスク（またはLAN録画機器）に同時に2つまで行えます（W録画）。
  ただし、LAN録画のみで2番組の同時録画（W録画）を行うことはできません。
- DLNA機能は、ダビング、LAN録画を合わせて同時に最大2つ（ビデオ視聴中は1つ）まで行えます。
- LAN録画とダビングは同時に行うことはできません。

※同時に行った場合、LAN録画が優先されます（ダビング中、LAN録画の予約開始時間になり録画が開始された場合、LAN録画が優先となりダビングは中止されます）。

※1 「新たな動作」で視聴中以外の番組を録画するときは、TV視聴を停止してから「新たな動作」を実行します。
※2 W録実行中は、「新たな動作」を実行しません。
※3 TV視聴および、ダビングを停止してから「新たな動作」を実行します。
※4 ダビングを停止してから「新たな動作」を実行します。
※5 「新たな動作」で視聴中の番組を録画するときは、ダビングを停止してから「新たな動作」を実行します。
※6 「新たな動作」で視聴中以外の番組を録画するときは、TV視聴および、ダビングを停止してから「新たな動作」を実行します。
※7 4KW録実行中は「新しい動作」を実行しません。
※8 コンテンツ再生および、ダビングを停止してから「新たな動作」を実行します。
※9 W録実行中は録画中の番組のみTV視聴可能です。
※10 コンテンツ再生を停止してから「新たな動作」を実行します。

※4K放送のLAN録画、ダビングは行えません。
※本機は8K放送に対応しておりません。
※ご加入のケーブルテレビ局の運用により、CATV放送のLAN録画、ダビングを行えない場合があります。
※ご加入のケーブルテレビ局の運用により、同時動作が制限される場合があります。

本機の表示ランプについて

	色	状態	本機の状態
電源ランプ	—	消灯	本機の電源を完全に落とした状態
	赤	点灯	電源「切」状態
		点滅	緊急警報放送受信時
		高速点滅	セキュリティ異常
	緑	点灯	電源「入」状態
		低速点滅	ファームウェアアップデート中
		点滅	電源「入」の処理中
録画ランプ	—	消灯	—
	赤	点灯	録画中
		点滅	録画準備中
	緑	点灯	OSシャットダウンの処理中
		低速点滅	ダビング中
		点滅	HDD修復中

故障かな!?と思ったら

本機が動作しないなどでお困りのときは、まず次の点を確認してください。
以下に記載のない現象に関しては、J:COMホームページのQ&A (https://www.jcom.co.jp/catv-service/stb-2/mini/faq/)も合わせてご確認ください。
これらの点を確認しても本機が正しく動作しない場合は、ご加入のケーブルテレビ局までご連絡ください。

現象	原因	対処	参照先
まったく動作しない	本機に主電源が供給されていません。	本機とACアダプターが正しく差し込まれているか確認してください。	P11
		本機の前面にある電源ボタンが、オンになっていることを確認してください。	P9
		ACアダプターが、本機のものであることを確認してください。	P11
	本機が壊れています。	本機が故障している可能性があります。ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。	—
画面が表示されない	本機と周辺機器が正しく接続されていません。	周辺機器と正しく接続されているか確認してください。	P16、17
		接続している端子が正しいか確認してください。	P16、17
		ケーブルモデムやルーター等のLINKランプを確認してください。	—
	電源がオンになっていません。	電源ボタンをオンにしてください。	P9
		電源ランプが赤色に点灯している場合、本機の電源がオンになっていません。 電源スイッチを押して、電源をオンにしてください。	P93
画面が暗い	本機と周辺機器が正しく接続されていません。	周辺機器と正しく接続されているか確認してください。	P16、17
		接続している端子が正しいか確認してください。	P16、17
リモコンから操作できない	リモコンの電池が消耗しています。	電池を交換してください。	P15
	リモコンの電池の極性が正しくありません。	電池を正しく入れ直してください。	P15
	リモコンの送信範囲外で操作しています。	送信範囲内で操作してください。	—
リモコンでの操作が効かない	本機で異常が発生しています。	本機の前面にある電源ボタンで主電源をオフにして、再度オンにしてください。	P9
		本機のリセットボタン(☞P9)を押し、本機を再起動してください。	P9
日本語と英語が同時に聞こえる／英語しか聞こえない	音声の出力方法が正しく設定されていません。	設定が正しいか確認してください。	P32
音声が聞こえない	音声の出力方法が正しく設定されていません。	消音 が押されていないか確認してください	P12
	本機と周辺機器が正しく接続されていません。	周辺機器と正しく接続されているか確認してください。	P16、17
		接続している端子が正しいか確認してください。	P16、17

現象	原因	対処	参照先
「入力された暗証番号が正しくありません。再度入力してください。」と表示される	暗証番号を確認してください。	暗証番号を忘れた場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご連絡ください。	P85
視聴時に何も表示されない/視聴時の画像や音声が乱れる	ご利用の環境や回線の状況によっては、まれに画像が乱れる場合があります。	故障ではありません。	—
	本機と周辺機器が正しく接続されていません。	周辺機器と正しく接続されているか確認してください。	P16、17
		接続している端子が正しいか確認してください。	P16、17
映像が映らない/正常な映像が映らない	本機の主電源をオンにする前に、テレビの電源をオンにしています。	テレビの電源をオフにして、再度オンにしてください。	—
	本機の主電源をオンにした状態で、HDMI端子ケーブルを抜き差ししています。	主電源をオフにしてHDMI端子ケーブルを接続し直し、主電源をオンにしてください。	P16、17
映像も音声も出ない	本機と周辺機器が正しく接続されていません。	周辺機器と正しく接続されているか確認してください。	P16、17
		接続している端子が正しいか確認してください。	P16、17
USBハードディスクが認証されない	本機とUSBハードディスクが正しく接続されていません。	本機とUSBハードディスク間のケーブルが正しく接続されていることを確認してください。	P41
	USBハードディスクの電源が入っていません。	USBハードディスクの電源が入っていることを確認してください。	—
インターネットに接続できない	本機と周辺機器が正しく接続されていません。	接続している端子が正しいか確認してください。	P18
		ケーブルモデムやルーター等のLINKランプを確認してください。	—
番組表が取得できない	本機と周辺機器が正しく接続されていません。	接続している端子が正しいか確認してください。	P17～19
	本機の設定日付／時刻が、実際の日付／時刻とずれています。	日付／時刻がずれているようであれば「システム設定」＞「デバイス設定」＞「日付と時刻」＞「日付と時刻の自動設定」を確認してください。 設定が“オフ”であれば、“ネットワークから提供された時刻を使用する”に変更してください。	—
動作がおかしい	本機のソフトウェアが古いです。	再起動を促すダイアログが表示されたら本機を再起動してください。	—
	テレビメニューなどのアプリが古いです。	再起動を促すダイアログが表示されたら本機を再起動してください。	—
Bluetoothがペアリングできない	本機はBluetooth接続は非対応のため、外部機器とのBluetoothのペアリングはできません。	—	—

メッセージ表示一覧

本機では状況に応じてメッセージをお伝えします。主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容
録画失敗時のメッセージ（予約失敗履歴）	
録画用ハードディスクが接続されていないか、登録されていません。接続または設定を確認してから再度お試しください。	録画用ハードディスクが接続されていない状態として扱われています。本機とUSBハードディスクの接続状態をご確認ください。
CAS情報が誤っているか、CAS情報の取得ができません。ご加入のケーブルテレビ局へご連絡ください。	本機でCASカードが読み込めない状態となっています。ICカードの差し込む方向を間違えている場合や、差し込みが十分ではない場合にも、このメッセージが表示されます。本機へのICカード挿入状態をご確認ください。
チャンネルが契約されていません。チャンネルが視聴できるかご確認ください。	番組を視聴するために契約が必要な場合は、このメッセージが表示されます。視聴できるようにするためには、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
録画用ハードディスクの空き容量が不足しました。他の録画を削除するか、別のハードディスクに交換してから再度お試しください。	録画用ハードディスクの容量が一杯で新たに予約できない状況です。新たに番組を録画するためには、録画物を削除してください。
録画用ハードディスクの最大録画件数を超えました。他の録画を削除するか、別のハードディスクに交換して再度お試しください。	録画物が最大数までUSBハードディスクに登録されているため、新たに録画できない状況です。新たに録画するには、不要な録画物を削除してから録画してください。
録画予約時のメッセージ	
ライセンスが無効なため録画できません。	契約が必要なチャンネルです。視聴／予約する場合には、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
予約番組数が上限に達したため予約登録できません。	番組表からの「簡単録画」および「繰り返し録画」の予約操作可能な登録件数は最大150件となり、これ以上、番組表からの録画予約の操作はできません。予約番組が録画開始されるか、予約を削除して再登録を行ってください。
DMP再生時のメッセージ	
ホームサーバーとの通信がタイムアウトしました。	同じホームネットワーク内にある他のDLNA対応機器と通信できない状況です。ネットワーク環境をご確認ください。

使用上のご注意

⚠ 警　告

使用上のご注意

- 本機、リモコンやACアダプターの内部に、異物を混入しないでください。
  開口部や隙間から、内部に液体をこぼしたり異物を入れると、ショートや発火の原因となることがあります。
- 不安定な場所に設置しないでください。
  傾いた場所や狭い場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、破損やけがの原因となることがあります。
- 本機を水や油など液体のかかる場所へ設置しないでください。漏電による火災や感電の原因となります。
- 電源コンセントはタコ足配線をしないでください。
  タコ足配線は発火の原因となったり、電源使用量がオーバーしてブレーカーが落ちたりし、他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- 濡れた手で触れないでください。また、濡れた手や汚れた手でケーブルを抜き差ししないでください。
  感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを電源コンセントに抜き差しするときは、ACアダプターにほこりがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。感電やショートによる発火の原因となることがありますので、ぐらぐらする電源コンセントは使用しないでください。また、ACアダプターを抜く際、電源コンセント面に対して真直ぐに抜かないと電源コンセント内の刃受けばねの接触が弱くなり、やがて接触不良となり、発熱の原因となることがあります。
- ACアダプターは、必ず付属のものを使用してください。
  付属品以外のものを使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを、本機以外に使用しないでください。
  火災、感電の原因となることがあります。
- 半年から1年に1回はACアダプターを電源コンセントから抜いて、点検、清掃を行ってください。ACアダプターにほこりがたまっているときは、すぐに電源コンセントから抜いて点検、清掃を行ってください。
  ACアダプターにほこりがたまって、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプターや接続ケーブルを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねるなど、しないでください。また、重いものをのせる、踏みつける、挟みこむ、薬品類をかけるなど、しないでください。
  ACアダプターや接続ケーブルが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
- 使用する電圧を間違えないでください。
  定められた電源電圧以外では使用しないでください。感電、発火の原因となることがあります。
- 異常な熱・煙・音・臭いがする場合は、すぐに使用を中止し、ACアダプターを抜いてください。
  そのまま使用すると、感電、発火の原因となることがあります。
- 本機を開けて、分解、修理、改造をしないでください。
  感電、やけど、発火の原因となることがあります。また、本機を開けた場合は、保証の対象外となります。
- 本製品のコネクタ内部にピンセット等の金属で触れないでください。
  感電、やけど、発熱や発火の原因となることがあります。
- 電池をショートさせないでください。
  火災、感電の原因となることがあります。
- 電池を火に投下しないでください。
  破裂、発火の原因となることがあります。
- 電池を濡らさないでください。
  火災、感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

⚠ 警　告

使用上のご注意

- 電池を小さなお子さまの手の届く所に置かないでください。
  誤飲による窒息などのおそれがあります。
- 電池内部の液体が皮膚や目に入ったときは、大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受けてください。
  失明や傷害の原因となることがあります。
- 電池を火のそばやストーブのそばなど高熱の場所での使用、放置をしないでください。
  漏液、発熱、破裂、発火の原因となることがあります。
- 本機には小さな部品が含まれています。小さなお子さまが飲み込んだりしないようにしてください。
- 本機を梱包するビニール袋を小さなお子さまの手が届く所に置かないでください。
  小さなお子さまがかぶると窒息する恐れがあります。
- 本機、リモコンおよびACアダプターを電子カーペットの上やこたつの中では使用しないでください。
  肌が触れる部分が低温やけどなどになる恐れがあります。
- 本機、リモコンおよびACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しないでください。
  内部の温度が上昇し、装置の故障、本機の変形、発火の原因となることがあります。
- 本製品の背面の入力端子／分配出力端子は、機器動作中、および電源オフ直後は触れないでください。
  機器動作中の入力端子／分配出力端子は高温になり、やけどの原因となるおそれがあります。
- 本機、リモコンおよびACアダプターが著しく変色している場合や、外観に破損がある場合は、ACアダプターを電源コンセントから抜いて使用を中止してください。
  火災・感電の原因となることがあります。
- 暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。
  ごくまれに筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こされる方がいます。そのような経験のある方は事前に医師と相談してください。
- 自動ドア、火災報知器など自動制御機器の近くに置かないでください。
  本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。
- 本機、リモコンおよびACアダプターを、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用しないでください。
  電子機器や心臓ペースメーカなどの誤動作の原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃性の物質を含む）を使用しないでください。

⚠ 注　意

使用上のご注意

- 湿度の高い場所での保管や使用はしないでください。
  感電の原因となることがあります。

- 温度差の大きい場所へ移動した場合は、すぐには使用しないでください。
  本機を寒い所から急に暖かい所に移動させたときは、本機内部に結露が発生し、故障の原因となります。
  万一結露した場合は、ACアダプターを抜いた状態で放置し、完全に自然乾燥させてからACアダプターを接続してください。

- 火気に近づけないでください。
  本機の変形によるショート、発火や装置温度の上昇による装置破壊の原因となることがあります。

- 本製品のSTB電源をオフにした後に再びオンにする際は、約30秒程お待ちください。
  本製品は精密機器のため、電源スイッチオン/オフ操作は電源部に負担がかかります。
  電源スイッチの頻繁なオン/オフは、機器の故障の原因となることがあります。

- 使用中にACアダプターを外さないでください。
  また、ACアダプターに足など引っ掛けないでください。使用中にACアダプターが抜けると、設定中の情報を失うことがあります。

- 近くで雷が発生したときは、ACアダプターを電源コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。
  近くで雷が落ちた場合は、火災・感電の原因となることがあります。

- 長時間使用しないときは、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。
  絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となることがあります。

- リモコンに電池を入れるときは、電池の(+) (−)を間違わないでください。
  液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。

- リモコンの電池は新品で使用期限に十分余裕のある電池を使用してください。
  次のような電池を使用した場合は、リモコンの操作ができない可能性があります。
  – 消耗した電池
  – 充電式電池

- リモコンの電池を交換する際は、古い電池と混合せずに 2本とも交換してください。
  また、異なる種類の電池を混用しないでください。
  液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。

- 長時間使用しないときは、液漏れ防止のため、リモコンから電池を抜いてください。

- リモコンを保管する際、小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。

- テレビの画面に近づきすぎたり、長時間の視聴を行わないでください。
  視力の低下につながる恐れがあります。

- 映像は、部屋を明るくして視聴してください。
  暗所で視聴すると、視力の低下につながる恐れがあります。また、てんかんなどを引き起こす恐れがあります。

- 電池を一般のゴミとして廃棄しないでください。
  お住まいの地域の、自治体の条例に従って破棄してください。

- 雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。
  落雷による感電の原因となります。

- 運用中、本機は発熱しますので、本機には長時間触れないでください。
  低温やけどの原因となることがあります。

設置するときのご注意

⚠ 注　意

設置するときのご注意

- 本機をテレビチューナー、DVDプレーヤー、ハードディスクレコーダー、ゲーム機、パソコンなどの発熱する機器の上には設置しないでください。
  故障や火災の原因となることがあります。
- 本製品やACアダプターを樹脂製のものやビニールでコーティングされたもの、塩化ビニール、フローリング調マット、あるいは塗装面など、熱に弱いものの上や、近くに置かないでください。
  本製品の発熱により、本製品の下、および近くに置かれた熱に弱い素材の変色、変形の原因となります。
- 本製品をじゅんたんやマット・タオルなど、柔らかいものの上に置かないでください。
  本体底面の空間が圧迫されることにより内部の温度が上昇し、故障・火災の原因となるおそれがあります。
- 周囲に10cm以上の間隔をあけて設置してください。
  換気が悪くなると本機内部の温度が上がり、故障や変形の原因となることがあります。
- 上にものをのせないでください。また本機を、ものの間に立てて置かないでください。
  変形、破損することがあります。本機内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。
- 縦置きしないでください。故障の原因となることがあります。
- 屋外には設置しないでください。
  屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
- 温度5℃～40℃・湿度5%～85%で結露しない場所に設置してください。
  温度や湿度がこの範囲を超えると、故障の原因となることがあります。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。
  内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。
- 水や油などの液体や湯気のかかる場所には設置しないでください。
  故障の原因となることがあります。
- ほこりや小さな金属片の多い場所には設置しないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 衝撃のかかる場所には設置しないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 接続しているケーブル類を踏まないような場所に設置してください。
  ケーブルを踏むと、感電や故障の原因となることがあります。
- 機器を移動させる際は、STB電源をオフにし、ACアダプターを本製品から外し、接続しているケーブル類を全て外してください。
  ケーブル類が接続されている状態で移動させると、故障や火災の原因となることがあります。
- 梱包箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください。
  本機内部の温度が上がり、本機の変形、故障、発火の原因となることがあります。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。
  故障の原因となることがあります。

お願い（その他）

お願い

その他

- 本機をお手入れする際は、ACアダプターを電源コンセントから抜いて行ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。
  本機の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でからぶきしてください。
- 本機やリモコンに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。
  変形、変色の原因となることがあります。
- 次のようなときは、本機の電源をオフにしたり、ACアダプターを電源コンセントから抜いたりしないでください。
  故障の原因となることがあります。
  – 本機の起動中
  – 本機のファームウェアの更新中
  – アプリケーション操作中および操作直後
- 携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの充電として、本機のUSB端子を使用しないでください。
- USB対応のヒーター、扇風機、ライトなどの電源として、本機のUSB端子を使用しないでください。

仕様

本体

品名	ケーブルプラスSTB-2 mini	
品番	C02ES1	
電源	ACアダプター　入力：AC100V　50Hz～60Hz 出力：DC12V　1.5A	
消費電力	※電源オン 11W 電源オフ(省エネ設定オフ時) 5W 電源オフ(省エネ設定オン時) 1W	
デジタル放送	256QAM	受信周波数帯域：90MHz～770MHz 入力レベル：55～81dBμV(平均値)
	64QAM	受信周波数帯域：90MHz～770MHz 入力レベル：49～81dBμV(平均値)
	OFDM	受信周波数帯域：90MHz～770MHz 入力レベル：47～81dBμV(平均値)
	PSK	受信周波数帯域：1032MHz～2072MHz、 2224MHz～3224MHz 入力レベル：48～81dBμV(平均値)
接続端子	• 入力端子：F型/75Ω不平衡 • 分配出力端子：F型/75Ω不平衡 • 映像音声出力：HDMI出力端子 • USB：背面　USB2.0 タイプA　×1 • LAN：RJ-45コネクタ(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)	
外形寸法	幅160mm 高さ27mm 奥行140mm(突起物含まず)	
質量	約375g	
環境条件	温度：5℃～40℃、湿度：5%～85%（結露なきこと）	

リモコン

使用電源	DC3V(単3型乾電池2個使用)
操作距離	約7m(正面距離)
質量	約100g(電池なし)

• 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみです。
外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません

GPL・LGPLについて

本機に格納されているプログラムには、GNU General Public License（GPL）（またはGNU Lesser Public License（LGPL））にもとづきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
本機に格納されているプログラムで上記ライセンスが適用されるオープンソースソフトウェアのソースコードはご要望に応じて媒体提供いたします。ただし下記の点をあらかじめご了承ください。
ソースコードの内容などについてのご質問には一切お答えできません。
提供されたソースコードにより作成されるプログラムについては一切の保証をいたしません。
媒体提供の際には別途実費を申し受ける場合があります。
ソースコードの提供期間は本機の生産打ち切り後、概ね3年とさせていただきます。

媒体提供を希望される場合は下記までお問い合わせください。

gpl-1703-91@info.sei.co.jp
住友電気工業株式会社
GPL関連窓口

登録商標について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Brands LLCおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国Xperi Inc.および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国Xperi Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- Android、Google は Google Inc. の登録商標です。
- Ethernet®は米国XEROX社の登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- 本機のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
  patentlist.accessadvance.com
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- ®マークおよび・表記については本文中に明記しません。

HEVC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

電波に関する注意事項

本機は、技術基準適合認証を受けた無線機器を内蔵しています。本機をご使用する際に、無線局の免許は必要ありません。ただし、ご使用にあたっては以下の点にご注意してお取り扱いください。

本機は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

■ 本機は、日本国内でのみ使用できます。
■ 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
- 強い磁気、静電気、電波障害が発生する場所（電子レンジ付近など）
- 金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
- 異なる階の部屋同士

■ 本機をコードレス電話機やラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
■ 本機は、技術基準適合認証を受けていますので、本機を分解・改造した場合、本機に貼ってある証明ラベルをはがした場合、法律により罰せられることがあります。
■ 本機に表示した

は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数	2.4GHz帯
FH	変調方式	FH-SS方式
XX		その他の方式
8	想定干渉距離	80m以下
▬▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であること。

さくいん

英数字

3桁入力……30, 81
4K映像……35
ACASチップ……87
ACアダプター……11, 108
BSアンテナ/ケーブル入力端子……10
BSアンテナ/ケーブル分配出力端子……10
C-CASカード……20, 87
DLNA……58, 69
DMP機能……60
HDMIケーブル……17
HDMI出力解像度……66
HDMI端子……10
HDMI連携機能……75
ICカード挿入口……9
ICカードの挿入……20
LAN端子……10, 18
LAN録画……47, 59
USB端子……10
USBハードディスク……41

あ

アイコン一覧……91
アプリ(アプリケーション)……22, 27, 84
アプリのアップデート……80
暗証番号……85, 86

い

インターネット(接続)……18

う

裏番組表……31, 36

お

お好みチャンネル……38, 40
お好みチャンネルモード……34, 37, 40
お知らせ……28
音声切換……32

か

かんたんテレビ電話……12, 84
かんたん録画……38, 49

き

機器登録……44
緊急警報放送待機設定……65

く

繰り返し録画……38, 50

け

ケーブル入力端子……10
ケーブル分配出力端子……10
現在放送中番組……31

さ

再スキャン(チャンネル設定)……64
削除(録画予約)……53
サブメニュー……12, 34, 39, 55

し

システム更新設定……80
システム設定……26, 89
視聴可能年齢……33, 85
視聴予約……38
字幕設定……82
字幕表示……32
ジャンル検索……52
受信状態……34
消去(録画番組)……55, 61
詳細録画……38, 50, 51
状態ランプ……9, 93
初期化(USBハードディスク)……46
初期化(本機設定データ)……88

せ

設置方法……13
選局設定……81
選局対象……81

た

ダビング……70

ち

チャンネルアップダウン……30, 81
チャンネルスキャン……63
チャンネル設定……63
チャンネルボタン……9
チャンネルマスキング……64

て

データの初期化……88
データ放送……12, 33
デフォルト録画先……45
テレビ設定……24, 89
テレビ電話……12, 84
テレビメニュー……21
電源入力端子……10
電源ボタン……9
電源ランプ……9, 93

と

同時動作について……92

ね

ネットワーク関連設定……68

は

早見再生……54
番組詳細(テレビ放送)……34
番組詳細(録画番組再生中)……55
番組表(EPG)……12, 36

ひ

表示ランプ……93

ふ

複数消去(録画番組)……57, 61
フリーワード検索……52

ほ

放送切換ボタン……9, 12
ホームネットワーク設定……69
保護／解除(録画番組)……55

め

メッセージ表示一覧……96

も

文字スーパー設定……81
文字入力……78

ゆ

優先動作について……92

り

リセットボタン……9
リモコン……12
リモコン操作(再生中)……56
リモコンの使い方……14
リモコンモード……15

ろ

録画機器設定……44
録画機能設定……85
録画番組一覧……12, 54
録画番組自動消去……85
録画予約……38, 49
録画ランプ……9, 93

わ

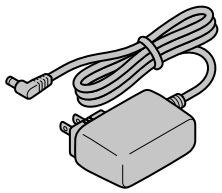
ワンタッチ選局(入力)……30, 62, 81

付属品の確認

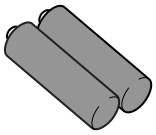
設置、接続の前に付属品をご確認ください。
●この取扱説明書や画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

□リモコン　1台
(☞P12)

□ACアダプター　1個
(☞P11)



□単3型乾電池(リモコン用)　2個
※試供品
(☞P15)



□ご利用にあたっての注意事項　1冊